

# 歴史街道と掛川

～東海道と塩の道が交わるまち～

## 掛川市 ウォッチブック



2011.3 掛川市民大学校 Cグループ発行

<目次>	ページ
■歴史街道と掛川	
A. 東海道	1
B. 横須賀街道	30
C. 湯の道	43
D. 塩の道	58
■歴史街道と深蒸し茶	71
■我がまち自慢(掛川紹介リスト)	
a. 景色・自然・観光	72
b. 文化・芸術・歴史	74
c. 食	78

(「湯の道」は勝手にネーミングしました！)

### <発刊に当たって>

私たち掛川市民大 schools Cグループでは、「まちづくり」をテーマに活動をして参りました。検討に当たって、友達や親戚が掛川に訪れた時にどこを紹介していいのか、困ってしまうという意見が多々ありました。そこで掛川を再発見し、それを市民の皆さんに知ってもらおうということで、市内の観光名所や絶景スポット、お気に入りの場所を調査し、まとめ上げました。まだまだ、書き足りないことばかりですが、皆さんがこのウオッチブックを見て、「今度ここに行ってみよう！」という気になって頂ければ、うれしく思います。

私たちメンバー全員は、これからも掛川を愛し、掛川自慢を発信していきたいと思ひます。

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

売店・食事処(ドライブイン)

## A1 小泉屋 掛川市小夜鹿57-8

掛川市街から東へ約11km、自動車ですぐ、島田市(旧金谷町)に入る直前。

県道415号線(旧国道1号線)の、小夜の中山トンネルを抜けた、すぐ右側にある。

国道1号線バイパスを使う場合、日坂ICでバイパスを降りて、取り付け道路を左折し、突き当りの旧国道1号線を「夜泣石」表示の方向に右折し、ずっと直進して小夜の中山トンネルに向かう。



遠州七不思議のひとつ「夜泣石」は、諸事情があって2つが現存するが、その内の1つが小泉屋の上にある。(左の写真)

従前の液状の子育飴(右の写真)は、630円・1050円・1575円の3サイズが有る。粒状にして食べ易くした子育飴は、約55個入りで、525円。

ぜんざい・そば・うどん・おでんなども食べられる。



定休日：木曜日 営業時間：8時～18時半

問合せ：0537-27-1010 公式サイト：<http://koizumiya.com/>

掛川の東海道は、ここから始まります

## A2 東の市境から小夜の中山峠まで

小泉屋を出て島田市(旧金谷町)に入り、旧国道1号線を金谷市街方向に向かう。400mほどで脇道へ右折、国道1号線金谷バイパスの下をくぐり、掛川市に入ったり出たりしながら300m、目立たない『小



夜の中山 久延寺方面』の道標から、右へ山道を登る。路面凍結注意。

この青木坂(箭置坂(やおきざか)とも、掛川市と島田市の境である道)を1km弱、『菊川の里(島田市) 日坂の宿(掛川市)』の道標が現れる。ここから、掛川市内の旧東海道が始まる。一帯は手入れの行き届いた緑豊かな茶畑に囲まれ、自然に心が和む。

『小夜の中山 久延寺方面』の道標から1.2kmで、小夜の中山峠の中心である久延寺に着く。



# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

東海道の三大難所の一つ

## A3 小夜の中山峠

掛川市小夜鹿291(久延寺)

掛川市街から東に約10km、自動車ですぐ20分ぐらい。

国道1号線日坂バイパスの日坂ICから、県道415号線(旧国道1号線)を東に100m、「小夜の中山公園入口」の道標で右折、山道を登る。

勿論、バイパスを使わずに国道1号線と旧国道1号線を行っても良い。(八坂IC以西の掛川バイパス区間の旧道は現役の国道1号線であるが、八坂IC以东の日坂バイパス区間の旧道は県道415号線となっており便宜的に旧国道1号線と呼ぶ)

旧街道筋に多くの歌碑・句碑がある。西行法師や松尾芭蕉などもここを歩いたのかと想うと感慨深い。小夜の中山峠は、箱根、鈴鹿とともに東海道の三大難所。久延寺・夜泣石の伝説は勿論、そこには、扇茶屋や小夜の中山公園や浮世絵美術館(夢灯)など見どころが多い。

駐車場：有(久延寺前、10台程度)無料 トイレ：有 入場料：無料

同伴：家族連れ・一人づらり

問合せ：0537-21-1149 掛川市商工労働観光課

掛川市サイト：[http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/east/Nissaka\\_SayonoNakayama.html](http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/east/Nissaka_SayonoNakayama.html)



歴史・文化

### A3a 小夜の中山の歌碑と句碑

小夜の中山・久延寺を中心とした、3kmほどの街道筋に十を超える多くの歌碑・句碑が見受けられる。



因みに、「小夜の中山」を詠み込んだ和歌は、勅撰集だけでも四十余首が有るほどである。



代表的な和歌や俳句は、「年たけてまた越ゆべしとおもひきや命なりけりさやの中山」(西行法師)「東路のさやの中山さやかに見えぬ雲井に世をや尽くさん」(壬生忠岑)「馬に寝て残夢月遠し茶のけぶり」(松尾芭蕉)など。

忙しい日常を忘れ、一時を遠い昔に思いを馳せては如何だろうか。是非、自動車を降りて、徒歩で訪ねることを勧める。

## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

### 寺院

#### A3b 久延寺

掛川市小夜鹿291

山内一豊が家康をもてなした茶亭の跡や、その礼に家康が植えたとされる五葉松が残っている。

また、夜泣石伝説ゆかりのお寺としても有名。夜泣石伝説の音八を育てた寺。子育て観音の名で旅人の信仰を集めた夜泣石が安置されている。博覧会出品のゴタゴタで、此処の夜泣石は後世に新たに掘り出したものである。



### 峠の茶屋

#### A3c 扇屋

掛川市小夜鹿299

峠の名刹久延寺の周辺には、往時は20軒ほどの茶店があったといわれている。現在は「扇屋」だけが残っている。

買物目的だけでなく、歴史ある店舗を鑑賞されたい。

「子育て餅」「餡の餅」で有名だが、小夜の中山峠が主街道から外れて以降、作りたてでないと食せない「餡の餅」は廃れた(「竹の丸」にて「餡の餅」を実験的に復活販売中)。

土日祝日のみ開店、10時~16時

問合せ: 0537-27-1474

### 公園

#### A3d 小夜の中山公園

夢灯の南側一帯

よく整備されており、春の桜にはじまり、新緑、紅葉と四季折々を楽しめる。

公園の高台に登ると雄大な富士山が見える。(写真は公園からの茶畑越しの富士山)



### 美術館

#### A3e 夢灯(ゆめあかり) 掛川市小夜鹿298-2

個人が運営する、浮世絵美術館。北斎・廣重を始め江戸時代後期の東海道の宿駅の浮世絵を数多く展示してある。ご主人にお願いすると丁寧に説明頂ける。

此処からは、粟が岳の“茶”文字が良く見える。

土日祝日のみ開館

10時~16時

大人300円・中高生200円

問合せ: 0537-27-2237

展示入替: 年4回

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

今度は下り坂

## A4 小夜の中山峠から日坂宿まで

「A3b 久延寺」より西に500mで北に右折。クネクネ道を700m下り、突き当りを右折。更に700m下ると旧国道1号線に出る。左折して、「A5 日坂宿」に向かう。**路面凍結注意**。日坂宿に行かないときは、旧国道1号線に出て100mで国道1号線日坂バイパス日坂ICへの取り付け道路が有る。

少し距離が長くなるが、久延寺の西500mで右折せずに直進し、更に500m先のY字路を右に行くルートもある。途中に歌碑や句碑が有るし、自動車の場合は道が広くて走り易い。**路面凍結注意**。旧国道1号線の、前述のルートと同じ場所に出る。

Y字路を左に行くのが本来の東海道であるが、「沓掛の坂」という急坂が有るので、運転に慣れた人や健脚の人にだけお勧めする。**路面凍結厳重注意**。(蛇足だが「沓掛の時次郎」とは何の関係もない)

往時を偲ばせる宿場の町並み

## A5 日坂宿

掛川市日坂

掛川市街から東へ約8km、自動車で15分ほど。

国道1号線掛川バイパス八坂ICから旧国道1号線を更に東に1.5km、「日坂宿入口」の道標を左に入る。



路線バスは、掛川駅北口より、東山線で、日坂停留所下車。

江戸から五十四里余。東海道五十三次、品川宿から数えて二十五番目の宿。宿場の東口から西口までの距離はおよそ700mの町並み。大井川の川止めの際や、雨の日(「沓掛の坂」を登るのが困難)には、賑わったという。33軒の宿屋が有った(掛川宿より5軒多い)が、建物は殆んど建て替えられてしまっていて往時の姿を留めているのは数少ないものの、江戸時代の宿場町の賑わいが思い浮かぶ。

本陣跡、旅籠屋の川坂屋・池田屋・萬屋、問屋場(といやば)の藤文(ふじぶん)、高札場などなど。いちばんの見どころである川坂屋(写真)には、太田備中守資美が掛川城主のときに譲られた数寄屋造りの茶室がある。川坂屋の襖や屏風の書は見応えがある。

駐車場：有(10台以上)無料 トイレ：有 入場料：無料(子供：可)

開館(川坂屋等)：土日祝日、10時～16時(入館は15時半まで)

ボランティアガイドにお願いすると、丁寧に案内頂ける

同伴：家族連れ

土産：わらび餅(山本屋、農協の向かい)

問合せ：0537-21-1149 掛川市商工労働観光課

掛川市サイト：[http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/east/Nissaka\\_SayonoNakayama.html](http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/east/Nissaka_SayonoNakayama.html)

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

景観・自然

## A6 粟ヶ岳(あわがたけ)

掛川市東山1050-1(売店の住所)

東海道を少し離れ、日坂宿から約11km北に向かうと、粟ヶ岳に着く。

日坂宿からほぼ一本道。麓に最近「A7 東山いっぷく処」が出来た。

麓からの道は、自動車で登るには、すれ違いが少々大変。麓から徒歩で登ると、1時間程度。

麓までの路線バスは、掛川駅北口より、東山線、東山停留所(終点)下車。

掛川を代表する山である(標高532m)。旧掛川市内のいたる所から見える。

天気の良い日には、山腹の大きな“茶”文字が、小夜の中山峠や国道一号線日坂バイパスや東名高速道路や東海道新幹線などから見える。

自動車で行ける道路の終点到売店が有り、軽食も出来る。売店脇の駐車場には数台しか停められないが、僅かに手前に大駐車場が有る。

山頂近く(売店の屋上など)からの眺めは最高。大茶園や大井川、太平洋、遠く南アルプスや伊豆の山々まで見渡すことができる。

山頂付近には無間の鐘(むげんのかね)伝説の井戸跡や、阿波々神社がある。

また、桜の名所として有名。染井吉野、里桜、山桜など約5千本が咲き誇る。開花時期は、下界よりも1~2週間ほど遅い。

歩いて登る道は、四季各々に美しい景観をひろげる自然散策路となっており、春先にはワラビやゼンマイなどの山菜狩りも楽しめる。

駐車場:有(60台)無料 トイレ:有

売店開店:10時~16時(定休日:毎週月曜) いも汁ご飯600円(土日のみ)

同伴:家族連れ・二人連れ・一人ぶらり

問合せ:0537-21-1149 掛川市商工労働観光課

お休み処・売店

## A7 東山いっぷく処

掛川市東山1173-2

「A6 粟ヶ岳」の麓にある地域密着のお店。地元で製造されたこだわりの東山茶の情報発信基地。

東山茶を飲んで“いっぷく”しては如何。東山茶は勿論、茶文字まんじゅう、とれたて野菜、手造り惣菜などを取り揃えている。

営業日:3月下旬~5月末は無休、それ以外は土日祝日 営業時間:9時~16時

問合せ:0537 27-2266 ブログ:<http://ippukudokoro.hamazo.tv/>



# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

旧国道1号線を西へ

## A8 日坂から東山口まで

「A5 日坂宿」を西に抜け、旧国道1号線に出るとすぐ、東山口に入り、南に「A9 事任八幡宮」が有る。

更に数百 m 西に進むと、南に少し引っ込んで、「A10 道の駅掛川」が有る。

旧国道1号線を更に西に1 km ぐらい進むと、国道1号線バイパスの八坂ICが有る。

因みに、此处までは旧国道1号線(県道415号線)、此处からは国道1号線であるが、国道から県道に格下げされてから日が浅いせいか、道の作りに差はない。

八坂ICの先、八坂橋を左に見て進み、国道1号線から離れて左の旧道に分岐する。

徒歩のときは大型トラックに注意しながら、数百mで、「A12 伊達方一里塚」に着く。



神社

## A9 事任八幡宮(ことのみまはちまんぐう)

掛川市八坂642

掛川市街から東に約7 km、東山口の東端に位置する。通称「八幡様」。

国道1号線掛川バイパス八坂ICから旧国道1号線を更に東に1.5 km、右手(南側)にある。駐車場へは、手前(西側)の道を右(南)に入る。

路線バスは、掛川駅北口より、東山行き、八幡宮前停留所下車。

「枕草紙」に登場、「思いのままに願い事が叶う」神社として信仰された。現在でも、願い事を持って訪れる人が多い。

ご神木の杉は、坂上田村麻呂が植樹したと伝えられ、県の天然記念物に指定されている。

秋(「敬老の日」前の3日間の金土日)には、例大祭(八坂地区の秋祭り)が行なわれる。因みに、掛川市街の秋祭りとは時期がずれている(八幡様の方が早い)ので、互いに相手地区の秋祭りを見に行くことが可能である。

写真は、裏口(駐車場側の入り口)。

駐車場：有・無料 トイレ：有

問合せ：0537-27-1690

公式サイト：<http://www.geocities.jp/kotonomachihime/>



# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

食事処・茶葉・土産等の物産・生鮮野菜・お休み処

## A10 道の駅掛川 掛川市八坂 8 8 2-1

掛川市街から東に約 7 km の旧国道 1 号線沿いにある。

国道 1 号線日坂バイパスから(八坂 IC の数百 m 東で)直接出入りできる他、旧国道 1 号線からも入りできる。(バイパス上り線とバイパス下り線と旧国道 1 号線は駐車場が分かれており、IC 代わりや U ターン場所として利用することは出来ない)



下記 7 店舗が入居している。

1. 「時之栖」運営のセルフサービス食堂と喫茶「COKO-COKO」(8時～20時)
2. 地元手づくり料理の軽食堂・弁当販売「茶茶はちまん」(9時～17時)
3. 自然薯とろろ汁・蕎麦・餛飩の「仙の坊」(9時～17時)
4. 農産物直売所(9時～17時)
5. お茶を飲んだり茶葉を買ったりできる「お茶処東山」(9時～17時)
6. ハムやウインナーやチーズの販売の「時之栖 手作り工房」(9時～19時)
7. コンビニエンスストア「ファミリーマート」(24時間営業)

毎月第 2 月曜日は、ファミリーマート以外は休みである。



農産物直売所は、品揃え豊富だが、地元住民の買い物処も兼ねているため、地場産品だけでなく、地元以外の新鮮野菜なども並ぶので、土産購入の際には注意。

平成 23 年 1 月にテレビ番組「ためしてガッテン」及び「みのもんたの朝ズバッ！」で取り上げられた掛川茶(ヤブキタの深蒸し)を安く買える。特

に、布袋入り 100 包 1050 円の品は、抹茶が配合されてることもあり、値段・味・茶殻始末の点でお勧め。

小腹が減ったときには、仙の坊の「自然薯 とろろ丼ミニ」(300 円)がお勧め。

駐車場：有(200 台以上)無料(国道 1 号線の駐車場は大型車は不可)

トイレ：有

入場料：無料

子供：可

土産：掛川茶・地場物産品・地場新鮮野菜・他

同伴：家族連れ向き

問合せ：0537-27-2600

掛川市サイト：<http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/east/mitinoeki.html>

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

梅園・農産物直売(期日限定)

## A11 こちの里

東山口(掛川市伊達方)

掛川市街から国道1号線を東に約5km、JA東山口支所(掛川市農協東山口支所)の角から北上し、間もなく国道1号線掛川バイパスの下をくぐった直後に、Y字



路を左に行って数百m。

3種の白梅の木が数百本一面に植えられている。観光梅園でなく栽培梅畑であるため、施設や店舗の類は皆無。

毎年2月中旬の日曜日9時~15時に、掛川市農業活性化やる気塾東山口地域塾が「梅まつりin東山口」を開催し、音楽バンド演奏・露店販売・農産物直売などが行なわ

れる。

駐車場：無(路上駐車可)

入場料：無料

トイレ：無

子供：可

同伴：家族連れ向き

問合せ：0537-27-0121(掛川市農協東山口支所)

## 史跡

## A12 伊達方一里塚

掛川市伊達方(旧地名：一里山)

掛川市街から国道1号線を東に約5km、JA東山口支所の直前を東名高速道路菊川IC方向に分岐右折して数百m。



東名高速道路菊川ICからは国道1号線を目指して北上し、国道1号線に出る直前のT字路の突き当たり。

路線バスは、掛川駅北口から東山線、新道伊達方停留所下車、徒歩(すぐ東の信号機から旧道に向かって南下、突き当りから西へ)5分。掛川駅に戻る路線バスの伊達方停留所は目前(八百屋の向かい、本来の一里塚の場所)。

江戸より57番目の塚。本来は一里塚があったのは数十m東だが、市が空き地を地権者から無償で借りて小公園と記念碑を建立した。

初夏には躑躅が綺麗である。基本的に売店は無いが、すぐ東に八百屋がある。

旧東海道ウォーキング上の道標になっている。

駐車場：無(無理すれば南方に路上駐車可)

入場料：無料

トイレ：無

子供：可

同伴：一人ぶらり

問合せ：0537-24-8711, 0120-70-8080(掛川観光協会)

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

牛頭道を西へ

## A13 東山口から西山口まで

東山口(A9 事任八幡宮、A10 道の駅掛川、A12 伊達方一里塚)を走行若しくは歩行してきたら、西山口に向かう。此処で通るのは、通称「牛頭道」(ごうずみち)である。

次ページの地図を参照されたい。

先ず、伊達方一里塚から菊川市方向に南下し、十三間橋(とよまばし)で逆川を渡ったらずく、右折して狭い道に入る。御屋敷の軒先をかすめる自動車通行 possible の道を西に向かうとやがて、防火用水を過ぎて、人ひとりがやつの狭い道となり西向きから南向きに転じ、十字路より再び自動車通行 possible の道に出会う。十字路を右折して自動車通行不能の道に入って西に坂を下ると、道は南向きに転じる。自動車通行 possible の道に再び合流し、再び逆川を西に渡り、直後の突き当たりを右(北)に向かうと、諏訪神社の脇に出る。

自動車の場合は、伊達方一里塚から諏訪神社まで、地図に点線で示したように、国道1号線を迂回されたい。

国道1号線ルートを歩いている人も多く見かける(国道1号線には歩道が完備している)こともあり、徒歩の場合も、古道(約四百年前のルート)を通らずに楽な新道に行くのも良からう。

さて、諏訪神社を左折して西に向かい、国道1号線に合流する直前で、左折して南下する。栄川(さかがわ)中学校を過ぎると道は西向きに転じ、左から来る新道と合流する。

此処からは一本道(牛頭道)であり、延々と西に走行または歩行した後、西山口小学校脇に出る。この後は、馬喰橋(ばくろばし)に向かうことになる。

途中に、「鞍骨の池」が有る。鞍骨の池から南に行くと、満水(たまり)にある「22世紀の丘公園」と、その中に高齢者福祉施設・催事場・会議施設・スポーツ施設などを兼ね備えた「たまりーな」が有る。鞍骨の池から北に行くと、国道1号線との角にコンビニエンスストア(サンクス山鼻店)が有る。

池

## A13a 鞍骨の池(くらぼねのいけ、くらぼねのいけ)

掛川市逆川422-1

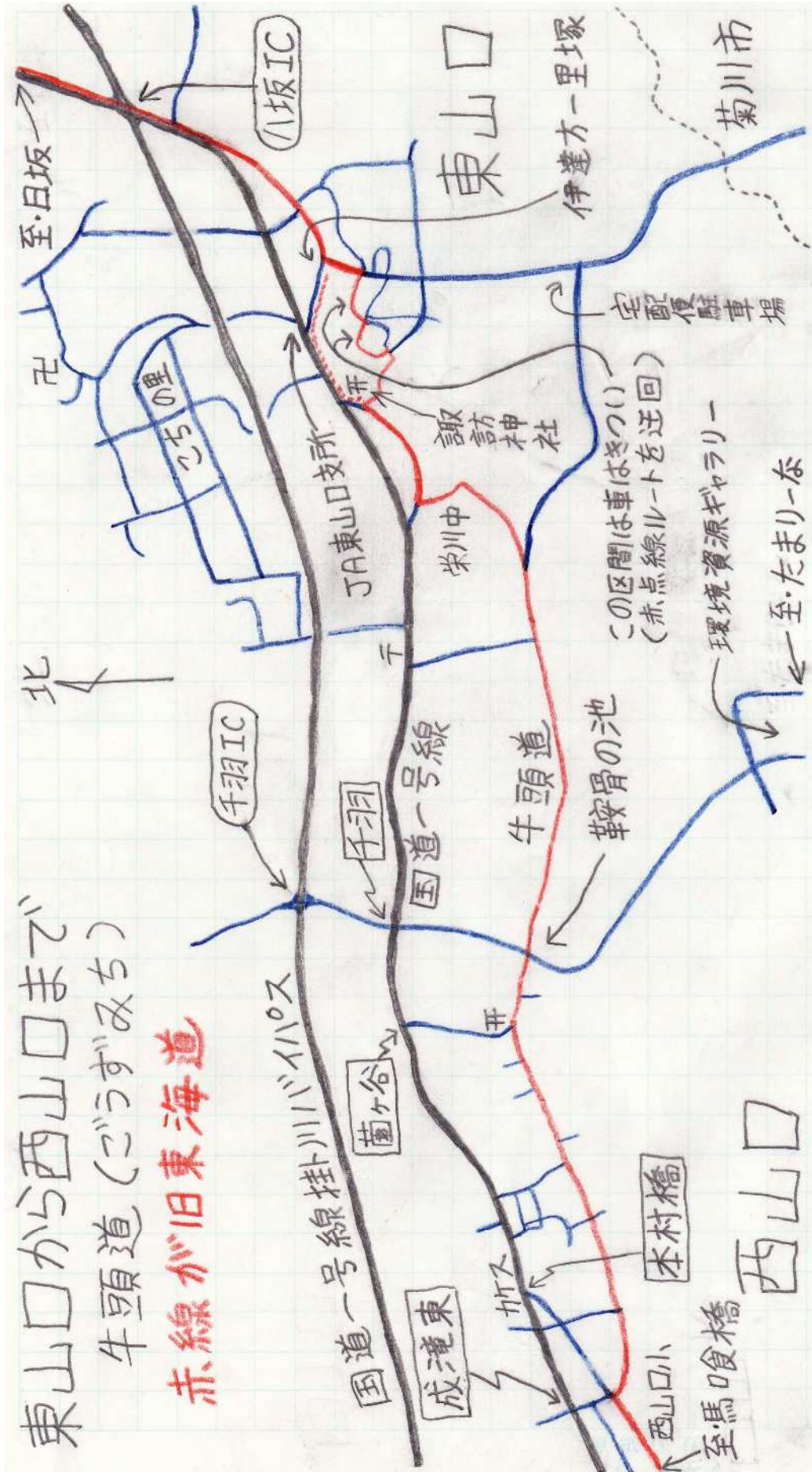
夏には蓮が咲き誇る池である。通称「池下の池」。

浄水場(現在は貯水場)の設置で面積が半減した。

享徳5年に、今川の大將であった堀越入道陸奥守貞延が武田軍に追われ、この池の土手に鞍橋(くらぼね)を埋め自刃したことから、名付けられたとされている。



歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)



# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

食事処(和食)

## A14 くずかわ茶寮 寅や(とらや)

掛川市葛川1177-2

シャブシャブやすき焼きを売りにする高級な和食処だが、ランチタイムには、安価な定食などが多くある。土日にも、ランチタイムはある。



掛川市街から東に約2 km。

場所は、少々、分かりにくい。

国道1号線の葛川交差点(掛川警察署の角)の南200mにある交差点(馬喰橋の東)より、旧東海道を西に200m、左の写真の狭い道(「もちや」の西)を北に入る。すぐに狭い橋を渡り、更に200mほど道なりに進むと、右手に、道から引っ込んで建っている(道端に看板あり)。

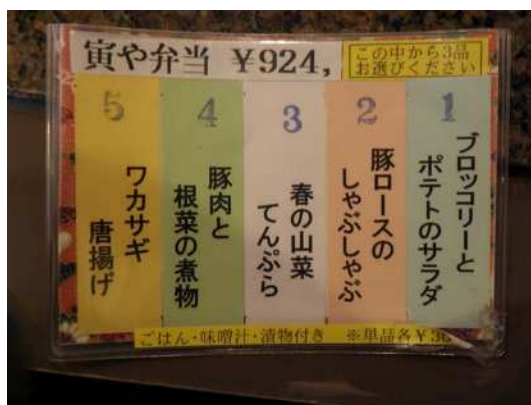
路線バスは、掛川駅北口より東山線、葛川停留所下車。

ランチタイムは11時半~14時半(ラストオーダーは14時)

丼物(ミニサラダと味噌汁と漬物が付く)は、親子丼735円、かつ丼840円、天井945円、ほか。定食は、豚生姜焼き定食1050円、チキンカツ定食1050円、地鳥から揚げ定食1050円、えびフライ定食1260円、豚カツ定食1260円、てんぷら定食1365円、とろろ定食1365円、ほか多数。(もっと高いものも揃っている)

いちばん人気は、下の写真の、寅や弁当924円(デザート付きなら1150円)

おかず5品の中から3品を選ぶ。御飯、味噌汁、漬物が付く。(まれに売り切れあり)



ディナータイムは17時~22時(ラストオーダー21時半) 委細省略。個室あり。

駐車場:有(20台)無料

問合せ:012-012-5464

定休日:水曜日

同伴:一人ぶらり・家族連れ・カップル・知人と・客と・宴会

公式サイト:<http://www.just.st/307821>(主にケータイ向け)

## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

食事処(インド・ネパール風カレー)

### A15 GANESHA (ガネーシャ)

掛川市葛川613-3

馬喰橋の東の交差点より南に400m(オーバブリッジには乗らずに側道を)、東海道本線に突き当たって右折して西へ150m、右手にある。

掛川駅北口から東に1.2km、左手にある(徒歩15分)

インド・ネパール風カレーの専門店である。大きなナンが焼きたてで、お代わり自由。インド人と思しき店員の対応が親切。安さが魅力。

3年前まではK a t h m a n d u (カトマンズ)という名だった。

ランチタイムは11時~14時半。



Aランチ(写真)780円:日替わりカレー、ナンまたはライス、スープ、サラダ、ソフトドリンク、デザート。

Bランチ880円:カレー(5種中の1種)、ナン、スープ、サラダ、ソフトドリンク、デザート

Cランチ1080円:カレー2種(5種中)、ナン、チキンティカ2個、スープ、サラダ、ソフトドリンク、デザート。



SPECIALランチ1450円:カレー2種、チーズナン、タンドリーチキン2個、スープ、サラダ、ソフトドリンク、デザート。

カレーライス680円:チキンカレー、ライス、スープ、サラダ。(お代わりなし)

カレーの辛さは4種類から選べる。

ディナータイムは17時~22時。委細省略。

駐車場:有(7台)無料

問合せ:0537-21-3467

定休日:月曜日(祝日なら営業)

同伴:一人ぶらり・家族連れ・カップル・知人と

「湯の道」にもインド風カレー専門店「C15 ビニータ」がある。本場カレー専門店が2軒もあるとは驚きである。

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

東海道を西へ

## A16 馬喰(ばくろ)橋から七曲(ななまがり)まで

(葛川、新町、喜町、塩町)

旧東海道の馬喰橋を西進し、渡り切ると左側に「葛川一里塚」がある。そこには近年建てた石柱の一里塚があるが、昔は松が植えられていたという。反対の右側には「東海道のモニュメント」があり、すぐそばの「もちや」では名物「振袖もち」を売っている。



約700m西進すると変則の4叉路に出る。この交差点には「木戸」があった。突き当りの木製の「七曲標識」に沿って左折すると七曲が始まる。「東伝寺」の屋根を右に見て南進し、最初の道を右折する。突き当たりに石造りの「秋葉常夜灯」があり、秋葉街道と重なっていたことがわかる。そこを左折するとお茶屋さんの倉庫にぶつかる。右折して西進し(途中から陣場峠を越えてきた「塩の道」と合流する。)突き当たりを右折する。50m程行ったクランク状の所が「七曲」の終わりで、ここに「東番屋」があった。今はその「説明板」が立っている。道が広場状で人溜りができるようになっており、昔の賑わいが聞こえてくるようだ。「七曲」は、山内一豊が敵を直接城に近づけないよう、戦略上工夫したものとされる。「東海道のモニュメント」「塩の道モニュメント」も建てられている。この東番屋からが掛川宿で城下になる。



「七曲」からさらに西側を通る県道掛川大東線(県道38号)までの間を「塩町」という。塩の道を運ばれた塩を扱う「塩問屋」があった所だ。仁藤町交差点を南進した県道掛川大東線沿いに「小貫屋」という酒屋があったが、昔の塩問屋だという。

クランクから50m程行った十字路を左折西進し、最初の十字路を右折する。北進して十字路を左折し大通りに出る。大通り十字路北西角に「高札場」があった。今は何も無いが和菓子の「桂花園」がある。掛川名物の葛を使った和菓子売っている。

## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

駐車場: 大手門駐車場(30分100円・5時間~24時間1000円)が近い

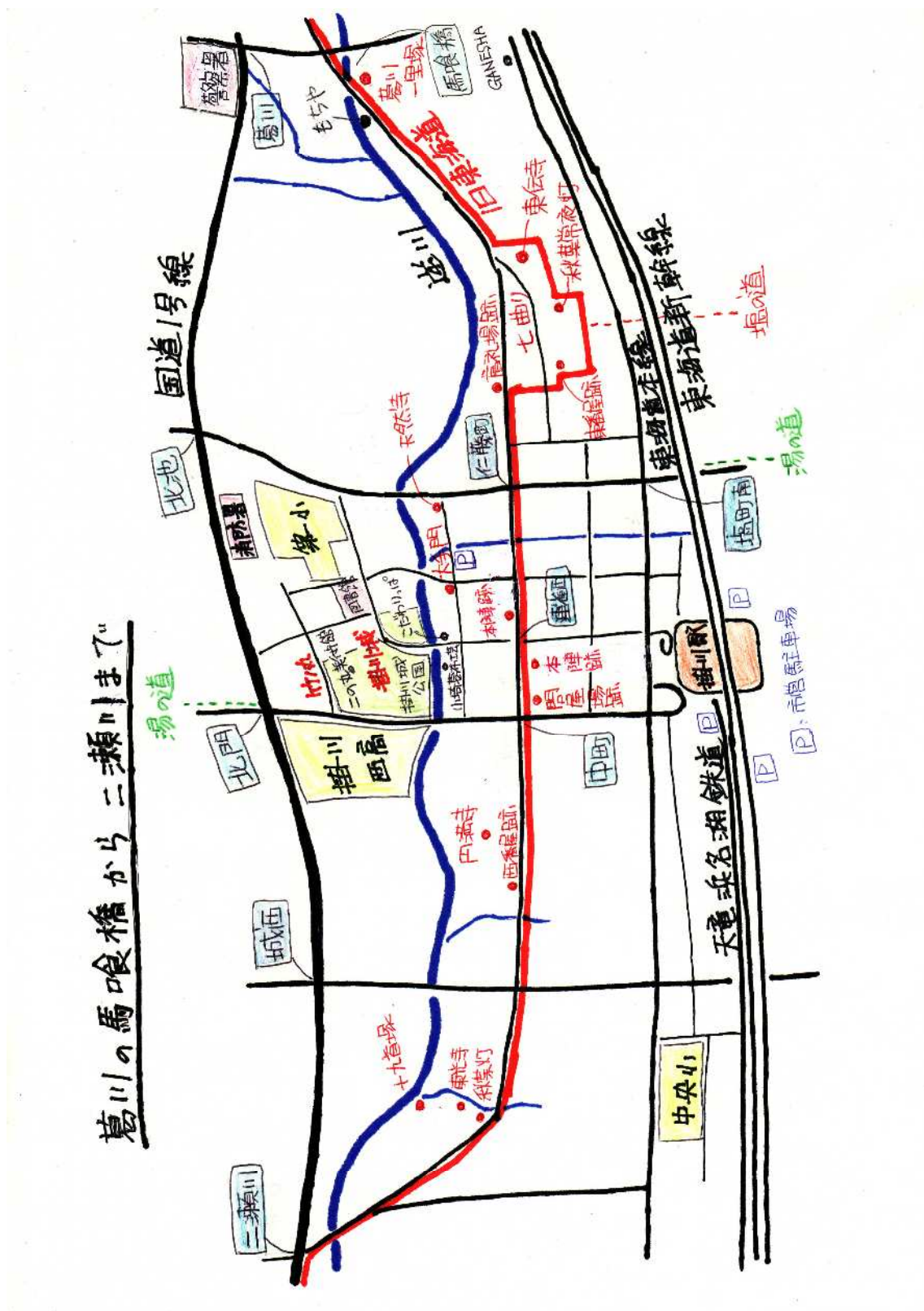
トイレ: なし(掛川駅、掛川城公園まで我慢)

同伴: 家族・歴史好きの人

食事: 「大和田」仁藤町1-4(桂花園向かい)うなぎ、芋汁 0537-22-5319

土産: 上記「もちや」「桂花園」

問合せ: 掛川市商工労働観光課 0537-21-1149





## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

### 寺院

#### A17 天然寺

掛川市仁藤町5-5

旧東海道からは、仁藤町交差点より北に100m、左折してすぐの右手(北側)。

掛川城付近からは、大手門の南の交差点から東に100m、左手(北側)にある。  
大手門駐車場の筋向い。



開創は明応三年と伝えられ、家康の加護を受けた、長い歴史を持つ寺であり、山内一豊も寄進を行なったことがある。門前を東海道が通る立地から防衛機能も果たしていたらしく、朝鮮使節の宿となるなど東海道と関わりの深い寺である。

コーヒーを日本に伝えた旧オランダ東インド会社の商館長ゲイスベルト・ヘンミの墓がある(オランダ貿易使節団であるヘンミの一行約70名は、1798年(寛政10年)のはじめに長崎の出島を出発し、4月に江戸城で11代將軍徳川家斉に謁見して贈り物を献上し、5月に江戸を発って長崎への帰途、6月5日に掛川宿の本陣林喜多左衛門方に宿泊、ヘンミはかねてからの病気が悪化して、6月8日に51歳で死去、天然寺に葬られた・・・死去は4月24日との説もある)。墓石は蒲鉾形で、当時のオランダ人墓の意匠を現在に伝える。コーヒー愛好家や研究者がお参りに訪れるという。

灌仏会には稚児行列が行なわれる。敷地内にある幼稚園の園児が白象の像を引く姿を見られる。

因みに、住所が掛川市掛川759や掛川市掛州759などとなっている資料もあるが、誤りである。

尚、天然寺の北側には、3年に一度の掛川祭り大祭に登場する仁藤の大獅子の、保存小屋がある。

問合せ：0537-22-4055

同伴：一人ぶらり・家族連れ・コーヒー愛好家

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

## A18 掛川駅 及び その周辺 (連雀西交差点の南)

掛川駅は、東海道本線の駅であり、東海道新幹線こだま号の停車駅であり、天竜浜名湖鉄道(昔の二俣線)の始発駅である。

駅南口構内に売店「これっしか処」が有り、掛川の名産品の多くは、此处で買える。

駅南口には、これっしか処と喫茶店カフェ・ド・ラーフはあるものの、コンビニエンスストアや食事処は皆無。(近隣のホテル内にはレストランやラウンジはあるが)

駅北口には、コンビニエンスストア(ローソン)が有り、少し歩けば食事処は沢山あるし喫茶店もある。バスターミナルは北口にある。タクシー乗り場は南北両方にある。

## A18a 掛川駅周辺市営駐車場事情

掛川駅北駐車場・掛川駅南第1駐車場・・・駅に近い、混む

30分 100円、10時間~24時間 2000円、24時間以上は12時間ごと 1000円加算。

掛川大手門駐車場・・・駅北口からは北北東に10分ほど離れるが、掛川城に近い

30分 100円、5時間~24時間 1000円、24時間以上は12時間ごと 500円加算。

掛川駅南第2駐車場・・・駅南口から西に10分ほど歩く、すいていることが多い

1時間 100円、10時間~24時間 1000円、24時間以上は12時間ごと 500円加算。

他に、民間駐車場も幾つかある(駅南に多い)。

## A18b 掛川駅駅舎 掛川市南1-1-1

北口駅舎は、新幹線停車駅では唯一の木造駅舎である。

但し、JR東海は耐震性の高い建物に建て替えたいと言っており、(高いお金を出してでも)木造のまま耐震補強する運動が起きている最中である。



## A18c これっしか処 掛川駅南口構内

**駅構内の売店。**なまものを除き、掛川土産の有名どころの殆んどが揃っている。

売り場の他に、ギャラリーもある。

定休日：元旦(販売)・祝日を除く月火水(ギャラリー)

営業時間：9時~20時(販売)・11時~16時(ギャラリー)

問合せ：0120-47-1056

公式サイト：<http://www.koresika.jp/index.html>

## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

### A18d おいでえ家 掛川市肴町1-13

**無料のお休み処。**掛川市中心市街地活性化協議会街なか応援隊主催。

掛川駅北口から150m北上、交差点の北東角にある。

自動車のときは、掛川駅北口のすぐ北にある、掛川駅前パーキング(ユニ跡地)30分100円・5時間~24時間1000円が近い。

定休日：第二・第四水曜日

営業時間：10時~17時(11月~2月)・10時~18時(3月~10月)

問合せ：080-1567-2165 (かけがわ街づくり(株) 0537-61-1151)



### A18e 沙羅の木 掛川市肴町1-10

**喫茶店。**列車待ちの時間つぶしにお勧めだが、食事も美味しい。以前は西山口にあった。

掛川駅北口から150m強北上、おいでえ家のすぐ北。

自動車のときは、掛川駅前パーキングが近い。



コーヒー400円、紅茶400円、ココア500円、  
コーヒーフロート500円、クリームソーダ500円、  
ケーキセット600円、トーストセット600円、  
パスタセット800円、煮込ハンバーグセット900円、  
オムライスセット1000円(左の写真にコーヒーか  
紅茶が付く)、ビーフシチューセット1000円、など。

定休日：無休

営業時間：8時~17時

問合せ：0537-21-2777

### A18f popcorn (ポップコーン) 掛川市駅前8-6

**喫茶店。**掛川としては遅くまで営業しており、駅に近い。

ホットモカジャヴァなどの変わりコーヒーが豊富で、頻りに列車待ち・バス待ちする人を飽きさせない。少々長時間の滞在でも嫌な顔をされないのは、バス待ち2時間が日常の掛川では有り難い。店内は少々薄暗い。

掛川駅北口(ローソンの北)にある。

定休日：不定

営業時間：9時~21時(ランチタイム：平日11時半~14時)

問合せ：0537-22-2464

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

## 掛川城周辺著名観光スポット (連雀西交差点の北)

掛川城周辺には、著名観光スポットが点在する。

掛川駅から北に徒歩7分、車なら大手門駐車場(30分100円・5時間~24時間1000円)に停めて西に徒歩数分。

問合せ: 0537-21-1149

(掛川市役所 商工労働観光課)

大手門駐車場: 掛川市城下8-1



## A19a 掛川城天守閣

掛川市掛川

戦国時代に山内一豊が建立したことで有名。但し、お千代様が訪れたことは無い。9時~17時(11~1月は16時半迄)。安政元年に倒壊、平成6年に完全木造で復元された。

## A19b 掛川城御殿(二の丸御殿) 掛川市掛川

掛川藩の、儀式の場・藩主公邸・役所として使用されていた建物。現存する城郭御殿は日本に4つしかない。

安政元年に倒壊、文久元年に再建。9時~17時。



## A19c 掛川城公園

掛川市掛川

天守閣再建と同時に整備された、はず池を中心とする小さな公園。春は桜が綺麗。

散策向き。休憩できる東屋がある。

## A19d 大日本報徳社

掛川市掛川1176

二宮尊徳の教えである「報徳思想」を説く報徳社の大本山。日本初の公会堂。10時~16時(平日は9時~)。

平成22年に大改修された。女性トイレも設置予定。



## A19e 二の丸茶室

掛川市掛川1138-24

平成14年に建築された、伝統的な数寄屋造りの茶室。茶道の心得などなくとも、「お茶席は初めてです」と名乗れば、全く問題ない。9時半~17時。

## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

### A19f 二の丸美術館

掛川市掛川 1 1 4 2 - 1

市営の美術館にしては珍しく、たばこ道具・刀装具・金工品など美術工芸品などの自前收藏品を持つ。9時～17時。

玄関前が、天守閣撮影の好スポット(午後は逆光)



### A19g 竹の丸

掛川市掛川 1 2 0 0

江戸時代に藩の重臣の屋敷があった場所、明治時代に葛布を扱う豪商が建てた大邸宅。9時～17時。

平成21年に大修復された。

### A19h 大手門

掛川市城下

逆川(さかがわ)の南を東方向に数分、大手門駐車場至近。

安政元年に地震で倒壊、平成6年に元の場所の北50mに再建された。付随する番所は、江戸時代のものを移築。



### A19i こだわりっば

掛川市城下 6 - 1 2

観光案内処、食事処(和西料理ふしおん)、土産物販売所、お休み処、等。9時半～17時。0537-24-8700

観光人力車の発着所でもある。

### A19j 小崎葛布工芸(おさきかっぺこうげい)

掛川市城下 3 - 4

土産物(葛布工芸品)販売。

お茶と並んで掛川が誇る葛布の座布団や財布など多種多様の工芸品の製造と直販。10時～17時(平日8時半～)、0537-24-2222



### A19k すいのや

掛川市城下 6 - 1

駄菓子屋だが、掛川おでんで有名。買って帰る人が多いが、食事席もある。10時～18時半。

大手門のすぐ南。0537-22-7432

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

東海道を西へ

## A20 仁藤から十九首(じゅうくしゅ) 二瀬川まで

(仁藤、連雀、中町、西町、十王、下俣町、十九首、二瀬川)

「桂花園」前を左折し、老舗呉服店「ます忠」のある仁藤町交差点に進む。ここから二瀬川交差点までの旧東海道は、今は県道掛川大東線(県道38号)になっている。

仁藤町交差点から1つ目の信号を右折すると「A19h 大手門」がある。右折せずそのまま西進すると、次の連雀西の交差点との間に「本陣跡」があり、道の右側に説明板が立っている。



連雀西の信号を右折すると「A19a 掛川城天守閣」「A19b 掛川城御殿」「A19g 竹の丸」「A19d 大日本報徳社」「A19f 二の丸美術館」「A19e 二の丸茶室」などがある。左折すれば木造駅舎の「A18b 掛川駅」に至る。

連雀西信号を直進し、次の中町交差点との間の左側に、「脇本陣」と「問屋場」があったという。しかし、今は何も残ってはいない。

中町交差点を西進すると西町に入る。しばらく行くと右側に「円満寺」がある。「円満寺」の山門は、掛川城の「露の門」だと伝えられる。小さいが柱が太くがっしりした門である。掛川城の内堀(蓮池)畔にあったが、廃城後、明治5年に寺に払い下げられた。その時、柱が長すぎたので、2尺5寸程下を切って移築したと説明板にある。

「円満寺」から県道掛川大東線を西に進む。十王との境を流れる「新知川」との間に「西番屋」があったというが、今は何も無い。「東番屋」からこの「西番屋」までが掛川宿で城下だった。

狭い新知川を渡り十王に入る。入ってすぐの川沿いの道を左折する。最初の道を右折し50m程行くと左に「十王公民館」がある。その裏に「十王堂」がある。「地藏菩薩(釈迦入滅後の救われなかった衆生を救うために、56億7千万年後に現れるという弥勒仏が出現するまでの間、衆生を導くという)」が「十王(冥府で亡者を裁くという閻魔大王などの十王)」と一緒に祀られている。十王の地名もこのお堂に因む。住宅地の狭いスペースだが霊験あらたかな雰囲気のため、入り口に地元の人の思いがこもった「説明板」がある。

## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)



県道掛川大東線を十王堂とは逆側へ右折し、新知川沿いを50m程北進するとY字路に出る。そこを左に行くと大きな長屋門がある。この辺りの庄屋だったという「山崎家」である。門からは大きな母屋や土蔵が見え、後ろには鬱蒼とした屋敷森がある。門前に「明治天皇掛川行在所」の石碑があり、大変格式の高い家だったことが分かる。しかし、民家で公開されていないので、外からの見学にとどめ、迷惑をかけぬよう注意したい。

新知川から西進し下俣町に入ると道は右にゆるく曲がる。カーブの頂点が3叉路で「旧東海道」「十九首塚へ200m」の木製標識がある。その三叉路を右に進んだすぐ右手に石造りの「秋葉燈」がある。その脇に「成田山遥拝所」と刻まれた石の門がある。門をくぐり小さな川(血洗川)に沿って奥に入ると、「成田山遥拝所」「東光寺」が右左に並んでいる。東光寺の左を通って大きな櫨が林立する墓所を抜けると、そこが「十九首塚」である。



「成田山遥拝所」は明治時代に作られた新しいものだが、「東光寺」は養老年間に行基が開いた真言宗の古い寺だった。その後、平将門を弔って彼の持念仏「薬師如来」を祀り「平将寺」とっていた時代を経て、今は曹洞宗の寺「東光寺」となっている。

「十九首塚」は、天慶(てんぎょう)の乱で、藤原秀郷(ひでさと)らに討たれた平将門一派19人の首級(しゅきゅう)を弔った塚と言われているが、確かな史料の裏付けはない。

十九あった塚も時の流れとともに失われて一番大きな塚(将門のものと思われる)に合祀されて僅か一つになって荒れ果てていたが、平成15年にはすっかり新しく整備された。今では地元の人に手厚く供養されている。

## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

秀郷が首実検に供するため19人の首級を関東から京へ運ぶ途中、ここで都から下って来た検視役の勅使(賊臣の首級を京に近づけるなという命を受けていた)と出会った。そこで、東光寺の入口から右側へ流れる小川で首級を洗い、橋の上に並べて検視を受けた。以来、小川は「血洗川」と呼ばれるようになったという。

秀郷は「将門は逆賊とはいえ名門の立派な武士」といって、その一派18人の首共々手厚く葬った。ときに天慶3年8月15日であった。「十九首」の地名もそれに因むのはいくらまでもない。



「十九首塚」からさらに進んで、「逆川(さかがわ)橋」を渡る。橋からは掛川城が遠望でき、なかなかの景色である。橋の向こうは国道1号線二瀬川交差点である。左折すると二瀬川の町筋で、昔の面影を残す商店が立ち並ぶ。西へ500m程行くと倉真(くらみ)川に架かる「大池(おいけ)橋」に出る。橋を渡ると5叉路である。仁藤から約2km、ここまでの道には歴史的遺物が多く見所いっぱいである。

**駐車場**：大手門駐車場(30分100円・5時間~24時間1000円)が近い

**入場料**：掛川城付近は有料

**トイレ**：なし。A19c 掛川城公園・新知川公園(新知川を挟んで十王堂の反対側)にある。

**同伴**：家族、歴史好きの人

**食事**：仁藤町交差点を大東方面へ南下して3本目の道を右折、200m先にうなぎ屋が2軒ある。両店とも人気ですぐ満席になる。予約すれば安心。

「うな専」掛川市肴町7-8 0537-22-5354

「甚八」掛川市肴町7-12 0537-22-5638

**土産**：掛川城公園近くの「こだわりっぱ」、掛川駅の「これっしか処」に特産物がある。

**問合せ**：掛川市商工労働観光課 0537-21-1149



# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

東海道を西へ

## A21 大池橋から善光寺・仲道(ちゅうどう)寺まで

(鳥居町、橘町、末広町、岡津)

「大池橋」を渡ると5叉路に出る。川沿いの一番右の道を行くと「秋葉道団地」へ行くが、この道へ入ってすぐの小道を左折すると「塩の道古道」である。右から2本目の広い道が「旧県道掛川森線」で、近代の「秋葉街道」である。入ってすぐ右に「秋葉山遥拝所」がある。東海道を急ぐ旅人が、ここで「秋葉神社」を遥拝した。江戸時代にはこの辺りに青銅製の大きな「秋葉山一の鳥居」と「秋葉常夜灯」一対が建ち、「秋葉街道(塩の道と重なる)」の入り口であることを示していた。「鳥居町」はその名残りである。右から3本目、すなわち直進すると現在の「国道1号線」である。



この5叉路を川沿いに左折した道が「旧東海道」で、現在の県道掛川袋井線(県道253号)である。左折した所の土手に、大池橋付近の「説明板」と「東海道のモニュメント」が立っている。この大池橋交差点は、「東海道」と「秋葉街道・塩の道」の分岐点で、当時の賑わいや人々の心情が思われ、胸に響くものがある。「倉真川」はこの下で「逆川」に合流吸収される。この道には歩道がなく、その上交通量がかなり多いので、歩く場合は細心の注意が必要である。特に子供連れの場合やお年寄りには気をつけたい。

橋の袂から直進し、「鳥居町」信号を通過して「天竜浜名湖鉄道」をくぐる。ガード左に「西掛川駅」がある。道なりに行き、感応式信号を通過して200m程進むと、右側に「橘区屋台置場」、その奥に「白山神社」がある。続いて同じく右側に「宗心寺」がある。



## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

しばらく進み、次の信号を渡るとすぐ左に「一乗山蓮祐寺」がある。門前の信号際に「東海道のモニュメント」があり「大池一里塚跡」の表示がある。「一里塚」は一里(3,9km)ごとに置かれ、街道の両側に5間(9m)四方の土を盛って榎(えのき)や松を植えた。ここには松が植えてあったという。



さらに道なりに200mほど進むとY字路がある。右に進み(左に行くと逆川の土手を上り橋を渡って「愛野駅」方面へ抜ける)しばらくすると道はゆるく右にカーブする。またすぐ左に曲がるが、先程のY字路から300m程進んだ右側に、煎餅屋「平松商店」がある。大正時代から煎餅の製造販売をしている。国産米だけを使うといい、まことに美味である。そこから100m程進むと、右側に地酒で有名な「曾我鶴」の醸造元がある。大きな土蔵と高い煙突が造り酒屋の貫禄を見せる。この「曾我鶴」は掛川駅の「こだわりっば」で販売されている。



やがて道は「国道1号線掛川バイパス」沢田ICにぶつかる。信号を右前に直進してガードをくぐり、すぐの信号を左折する。そして、国道1号線掛川バイパス沿いを100m程進むとY字路がある。そこを右にとって国道253号を暫く行くと一旦停止のある4叉路に出る。その4叉路を直進し、4、5本残る松並木を見ながら進むと東名高速道路の高架がある。高架をくぐって西進すると垂木(たるき)川に架かる「善光寺橋」に出る。

## 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

善光寺橋を渡るとすぐの所に右に入る細い道がある。曲がり際の民家の庭先に「自然石の道標」が置かれている。かなり大きなもので、真中に「従北岡津區(これより北、岡津區)」と深彫りされ、右に「掛川町まで一里」左に「袋井町まで一里」と彫られている。近代のものであまり古くはないが、当時の交通が偲ばれて興味深い。

道標のある道を通り過ぎた右側が「善光寺・仲道寺」で、二つの寺が同じ境内にある。

この場所がお江戸日本橋と京三条大橋の中間点であるところから「仲道寺」という名がついたという(参道脇の石碑に「東海道真中仲道寺」とある)。「善光寺」は、坂上田村麻呂の守本尊「阿弥陀如来」を祀る古い如来堂である。



先程の道標を右折し50m行くと右側に仲道寺の「参拝者用駐車場」がある。

「大池橋」からこの「仲道寺」までは約3kmである。この先、旧東海道は、原川の街に向かって「松並木」が続き、原野谷川を「同心橋」で越えて袋井宿に向かうのである。

**駐車場：**宗心寺・蓮祐寺・仲道寺にあるが、参拝者用のものであるので心遣いが必要  
場所によっては路肩駐車も可能だが、交通量が多いので充分注意が必要  
(当然乍ら、駐車禁止の所には絶対駐車しないように)

**トイレ：**宗心寺・蓮祐寺・仲道寺にあるが、参拝者用であるので心遣いが必要である。

**同伴：**一人ぶらり・家族連れ・歴史好きの人

(歩道がなく交通量が多いので、子供・お年寄りは充分注意が必要)

**食事：**仲道寺のすぐ西に「A22 椎の木茶屋」がある。 0537-22-3608

**土産：**細田の「平松商店」の煎餅 0537-22-3611

掛川駅構内の「A18c これっしか処」で販売されている地酒「曾我鶴」

**問合せ：**掛川市商工労働観光課 0537-21-1149

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

食事処(割烹)・旅館

## A22 椎の木茶屋

掛川市領家1495

仲道寺のすぐ西の小川を渡ると右手にあるのが「椎の木茶屋」である。

原野谷川東に広がる原川の街は、室町時代から江戸時代にかけて、「市場」や掛川宿と袋井宿の「間の宿」(あいのしゆく)として栄えた。以前はここにあった「椎の木茶屋」は、掛川藩主太田備中守の休息所として建てられ、後に下附されたという由緒ある茶屋である。屋号は、原野谷川に架かる同心橋の袂にあった「椎の巨木」に因むと伝えられる。明治元年、明治天東京行幸のみぎり、「椎の木屋伊藤又左衛門方」すなわち今の「椎の木茶屋」の茶室(現存しない)に御休息されたという。最近、現在地に移転した(現在地も旧東海道沿いである)。



法事などの団体客が多いが、一人で行っても問題ない。品のよい料理を、ゆっくりと個室で味わうことができる(個室しかないの、一人で行っても個室)。と言っても、隣室とは襖一枚を隔てただけだし欄間が開いているので、必ずしも落ち付けるとは限らないが。

宿泊も可能だが委細省略。

とんかつ茶漬1140円、釜飯定食(30分待ち)1160円、焼肉定食1240円、煮物定食1240円、ヒレカツ定食1320円、茶屋天井1400円、刺身定食1450円、いも汁定食1575円(季節限定、要予約)、うな丼(中国産)1050円、うな丼(浜名湖産)1890円、揚げ物御膳1550円、エビフライ定食1870円、刺身膳1870円、茶屋弁当(上)1890円、など。(もっと高いものも沢山ある)

ランチタイムは11時~13時半(経験では、早く終わることもある)。

「1050円ランチ」1050円(コーヒー付き1200円)と「とろろ汁ランチ」1050円が有る。



1050円ランチ(左の写真)は、おかずは9種中から2種(写真では、刺身と天ぷら)を選べ、御飯(おかずが丼物のときは付かない)と茶わん蒸しと味噌汁と香の物が付く。

9種のおかずとは、刺身、天ぷら、豚カツ(サラダ付き)、焼き魚、焼き肉、カニクリームコロッケ、天井、カツ丼、カキフライ(丼物を2つ選ぶことはできない)。

駐車場：有(数十台)無料

問合せ：0537-22-3608

定休日：水曜日

営業時間：11時~14時, 17時~21時

同伴：一人ぶらり・家族連れ・カップル・知人と・客と・宴会

公式サイト：<http://www.nande.com/siinoki/index.htm>

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

東海道の面影、西の市境まで

## A23 原川の松並木

掛川市原川

旧東海道(県道253号線)を進み、国道1号線掛川バイパス、そして東名高速道路の下を潜ると間もなく小さな川(垂木川)を越える。参道脇の石碑に「東海道之真中」



とある仲道寺・善光寺と、椎の木茶屋がある。原川の松並木はここから始まり、500mほど続く。東海道の面影を残す松並木は掛川市内ではここだけ。傷んだものは新しく植え替えられ並木が維持されている。遠い江戸時代に行きかけた大名行列や旅人が目に浮かぶ。

松並木から北側に目を向けると、白壁の屋敷が目に入る。代官屋敷が再建され、説明板には、横須賀藩の旗本とある。(住まいのため公開はされていない)



松並木の端には、本尊が“足痛薬師如来”と呼ばれる金西寺がある。

原川は、掛川宿と袋井宿の中間にあり、旅人相手の茶屋や酒屋が並ぶ「間の宿」だった。その名残が椎の木茶屋である。

金西寺の先の交差点を過ぎると、県道253号線と国道1号線の重複区間の原野谷川に架かる同心橋。ここが、掛川市内での東海道の西端となる。

掛川市街から西へ約4km・自動車で約10分のところ。掛川市内の東海道東端、小夜の中山から15kmほど。一日かけて、一度は歩いてみたい。

駐車場：無

トイレ：無

同伴：一人ぶらり

食事：A22 椎の木茶屋(割烹)・片浜屋(寿司・0537-22-3638要予約)

問合せ：0537-21-1149 掛川市役所 商工労働観光課

# 歴史街道と掛川(東海道と塩の道が交わるまち)

## 「ちょっと一休み」

### 「掛川市民憲章」

平成19年3月23日制定

わたくしたち掛川市民は、赤石山系から遠州灘にいたる豊かな自然のめぐみに感謝し、すぐれた伝統・文化と生涯学習により育まれた我が郷土に誇りをもち、だれもが健康で幸せに生きていけるよう、この憲章を定めます。

- 1 わたくしたちは 美しく豊かな自然を大切にし 未来に向けまもり育てます
- 1 わたくしたちは 郷土を愛し 先人の築いた伝統と文化を尊び さらに高めます
- 1 わたくしたちは あたたかな家庭をつくり 生きがいをもって 勤労に励みます
- 1 わたくしたちは きまりを守り 礼を重んじ 思いやりの心を大切にします
- 1 わたくしたちは 充実した人生を送るため 日々健康に努め 生涯学び続けます

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## 横須賀街道

### B1 坂里（さかさど）の柴山神社 掛川市坂里

県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」交差点まで進み、旧国道150号線へ左折。東進し掛川市大東支所、国安橋を過ぎ、千浜小学校信号の次にある、旅館「鳴海屋」の信号を左折。県道244号を北上し、一つ目信号の先左側。

祭神は、須佐之男命、稲田姫之命。鬱蒼とした森の中はかなり大きな社殿がある。この森は、県指定の「ふるさとの自然百選」に選ばれている。



駐車場：国安橋は川の土手道、芝山神社にあり

入場料：－

トイレ：なし

同伴：家族、風景・歴史愛好家

食 事：旧国道150号線、千浜小学校交差点を南進し、国道150号線方向に500m  
行った所にある和食「大松」 TEL 0537-72-4436

### B2 菊川に架かる国安橋 掛川市国安



県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」交差点まで進み、旧国道150号線へ左折。東進し掛川市大東支所を過ぎて1km程行った所の菊川に架かる橋。

海まで2.5km、この橋から眺める川幅の広がった菊川の流れは雄大である。昔は、この国安橋は無骨なコンクリートで、空襲を避けるために黒いコーラタールが塗られていた。夏にはこの橋の袂から国安海岸へ海水浴に行く川舟が出ていた。また、花火もあがった。近年架橋し直し、広く明るくなった。見晴らしは前より格段によくなった。

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## B3 潮騒橋

掛川市国安



潮騒橋



東方向にある風車。



蟻さんみたいなのは、サーファーです。

掛川市の最南端にある菊川（川の名前です）の河口にちょっと変わったアーチ型の潮騒橋があります。「遠州のからっ風」が始終吹いている場所ですが、駿河湾と潮騒橋の朝日や夕日は、絶景スポットになっています。橋から見渡せる何基もある風力発電装置や良い波を待つサーファーを見ていると、ボーっと時を過ごすことができます。

駐車場・トイレ：橋の西側に「大東総合運動場」があり、ここを利用すると便利

同 伴：家族、友人

## B4 菊浜の庚申(こうしん)塔・石地蔵・馬頭観音 掛川市菊浜

県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」交差点まで進み、旧国道150号線へ左折。東進し掛川市大東支所を過ぎて600m程行った所の右側の囲い木の中に、地元の人が祭る瓦ぶきの祠がある。

祠の中に「庚申塔」「石地蔵」、外に「馬頭観音」が祭られ、この道がまさしく「横須賀街道」であったことを示す遺物である。庚申様（道教ではこういうが、仏教では青面金剛、神道では猿田彦と混交されている。）は旅の安全、お地蔵様は衆生済度、馬頭観音は荷馬の守護（馬が死んだ所に供養として建てた）で、街道を行く人の心を癒した。

駐車場：ミナクル市にあり 入場料：－

トイレ：ミナクル市にあり 同 伴：家族、歴史愛好家

食 事：県道掛川大東線（県道38号）大東「大坂北」交差点を右折最初の信号手前、「おけや」食堂 TEL 0537-72-2543。

大坂交差点を南進最初の信号を左折し150m、沖縄料理「かりゆし」（昼は要予約） TEL 0537-72-8117。

問合せ：掛川市大東支所 TEL 0537-72-1111



# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## B5 大東支所の展望台

掛川市三俣 620 0537-72-1111



展望台から見た菊川。

掛川市大東支所には、360度見渡すことのできる展望台があります。エレベータに乗って4階まで行き、扉が開くと、そこには、南は駿河湾、東に富士山、北に南アルプス連峰、西には浜松アクトタワーが見えます。あまり人がこない場所なので、絶好の癒しスポットです。お弁当を持って子供と行くのも良いかもしれません。

駐車場：有り トイレ：有り

## B6 ミナクル市大城店

掛川市三俣

県道掛川大東線（県道 38 号）を大東「大坂」交差点まで進む。そして、旧国道 150 線へ左折し 300m 進み左側。

掛川市で最初に地場産品の直売を始めた所で、新鮮で質のよい大東産野菜が安い。掛川茶やメロンもある。「遠州夢咲牛」は予約で買える。経営は遠州夢咲農協である。



## B7 沖縄料理「かりゆし」

掛川市浜野 1957 0537-72-8117

大浜中学校の南に沖縄料理「かりゆし」があります。沖縄本場料理が楽しめる場所は、掛川には数少ない場所です。



予算を決めて頼むことができます。

駐車場：有り

同伴：家族、友人



具が一杯のゴーヤチャンプル。

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## B8 大坂の追分道標 掛川市大坂

県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」交差点まで進む。そして、旧国道150号線へ右折する。500m先に斜め右に入る小道がある。そこに入って50m先に変則4叉路がある。その右手に大きな「日露戦争石碑」と小さな「追分道標」がある。

旧掛川街道と旧横須賀街道の「追分」すなわち「分かれ道」を示す道標である。風雨にさらされ、文字は「右・左」がかろうじて読める程度。この地点から北側の太田坂を越えて掛川街道が北へ延びていた。大きな坂を越えるので「大坂」の地名が生まれたという。

駐車場：矢柄神社にあり 入場料：－

トイレ：なし 同伴：家族、歴史愛好家

食 事：旧国道150号沿い中華料理「好（ハオ）」TEL 0537-72-5775。  
大坂交差点を南進最初の信号を左折し150m、沖縄料理「かりゆし」（昼は要予約） TEL 0537-72-8117。

問合せ：掛川市大東支所 TEL 0537-72-1111

---

## B9 大坂の矢柄（やがら）神社 掛川市大坂

県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」の信号まで進む。旧国道150号線へ右折し、700m西進し右側。

鎌倉時代に社殿を修理したという棟札のある古社である。10月第2週の土曜、日曜日に大坂・睦浜「五地区秋の祭典」が行われ、一本柱万度型屋台が15台で練り歩き壮観である。境内は静かで、旧国道150号線沿いの角に「秋葉燈」がある。なお、旧横須賀街道はこの神社の裏を通っている。



# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## B10 中新井池のオニバス

掛川市中新井

県道掛川大東線（県道 38 号）を大東「大坂」の信号まで進む。旧国道 150 号線へ右折して 2.5 km 西進する。2 つ目の信号（大淵小学校手前）を右折北進。さらに最初の 4 叉路を右折東進し、次の 4 叉路を左折した左側。

絶滅危惧種、県天然記念物で、棘があり赤い花が咲く「オニバス」が群生していた。残念ながら今ではなくなってしまった。オニバスは小笠南部の「ため池」には菱とともにどこにでもあったが、最期まで残ったのはこの池のみ。県立横須賀高校の生物部が研究して世に出した。親水公園になっており、緑の桜「御衣黄桜」も植えられている。

駐車場：あり

入場料：－

トイレ：中新井池にあり

同伴：家族、歴史好きの人、自然が好きな人

食 事：旧国道 150 号沿い中華料理「好（ハオ）」TEL 0537-72-5775

大坂交差点を南進最初の信号を左折し 150 m、沖縄料理「かりゆし」（昼は要予約）TEL 0537-72-8117

問合せ：掛川市大須賀支所 TEL 0537-48-1000

## B11 岡原（おかばら）の銭亀堂

掛川市岡原

県道掛川大東線（県道 38 号）を大東「大坂北」信号（静銀の所）まで行き右折。3 km 程進んだ右手のお堂。反対側に「コーニングジャパン」の巨大な工場がある。

秘仏が祭られており、12 年に一度、さらに 60 年に一度の御開帳がある。ここを中心に行われる「大淵のさなぶり」は、初夏 6 月の早朝子供たちによって行われ、市指定文化財になっている。（「さなぶり」は「さのぼり」の訛りで、「さ」は稲のこと「のぼる」は終わること。田植終了を祝い豊作を祈る意味だという。）



# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## B12 大須賀歴史民俗資料館

掛川市大淵

県道掛川大東線（県道 38 号）の大東「大坂」信号を右折。旧国道 150 号線を西進する。大坂信号から 3 つ目の「大淵小学校」前という押しボタン式信号を過ぎて 250m 行くと、標識（4 つ目の信号手前）がある。そこを右折してすぐ。



旧大須賀町時代にできた施設。土蔵造りの立派な建物である。展示物は、「三熊野神社祭典関係のもの」「軽便鉄道関係のもの」「農作業関係のもの」「消防関係のもの」「横須賀凧」「生活用具」など、幕末から明治、大正、昭和、それぞれの時代を支えた懐かしい物ばかりである。このような施設は市内ではここしかない。常駐する係りの人が、ていねいに説明してくれる。ちょっと昔の世界に触れることができ、楽しい時間が過ごせる。



駐車場：あり

入場料：－

トイレ：あり

同 伴：家族、歴史好きの人

食 事：旧国道150号沿い中華料理「好（ハオ）」TEL 0537-72-5775

大坂交差点を南進最初の信号を左折し150m、沖縄料理「かりゆし」（昼は要予約） TEL 0537-72-8117

問合せ：掛川市大須賀歴史民俗資料館 TEL 0537-48-6522

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## 花

### B13 御衣黄桜（ぎょいこうざくら）

掛川市西大渕

花が緑色の八重桜であり、見ごろは4月中旬。

掛川市役所大須賀支所（旧大須賀町役場）の南西の裏口を出て歩く。右手にムトウモーターズを見ながら西に100m、十字路を左に曲がって、100m南下、道沿いに3本ある。盛りの土日には、地元有志による桜湯のサービスがある。開花から1～2週間が見ごろ。尚、暖かくて開花が早い年には、その年の曜日の具合にもよるが、三熊野神社大祭（4月の第一金曜日～日曜日）見学のついでに見に行くことも可能。

100mほど東の、天王森の中古楠神社とマレットゴルフ場の南側にも、何本もあるが、訪れる人は少ない。開花時期が1週間ぐらい早い。

三熊野神社の境内にも、若木が3本ある。

駐車場：有（掛川市役所大須賀支所）無料

問合せ：0537-21-1149（掛川市役所 商工労働観光課）

公式サイト：[http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/k\\_jyoho/flower/gyoikou.html](http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/k_jyoho/flower/gyoikou.html)



### B14 サンサンファーム

掛川市大渕 1456-312 0120-55-3386

掛川市内と近隣及び遠州地方の物産品、観光お土産品等を取り揃えており、休日にはひっきりなしに市内・市外はもとより、県外からも大勢の人でにぎわっています。地元特産物は、季節ごとに楽しめ、代表的なものでは、春はジャガイモ、玉ネギ、夏はスイカ、キュウリ、ピーマン、秋は栗、ナス、レタス、冬は自然薯、ミカン、ハッサクなど盛りだくさんです。

でも何と言っても揃えたて新鮮なメロン狩り（7月～8月）、イチゴ狩り（12月～5月）がお勧めです。イチゴは「章姫」「紅ほっぺ」があり、ゴルフボールより大きいものをお腹いっぱいになるまで食べることができます。

営業時間：9:00-17:00 定休日：木曜日

駐車場：約100台 トイレ：有り

<http://www.sunsunfarm.com/index.html>



# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## B15 晴明塚

掛川市大淵



およそ千年前、京の都に安倍晴明という天文・暦学に詳しい陰陽師がおり、津波防止のためにここに小豆色の小石を積み上げて祈禱しました。すると津波があっても、ここだけは避けて被害はなくなり、村人は晴明の徳をたたえここに祀り晴明塚と呼ばれるようになりました。その後、晴明塚に祈願すると疱瘡にかからぬと信じられ多く

の参詣者があったそうです。

この塚に置かれている石は赤く変色しています。1つ借り願い事が叶ったら「普通の石を2つ」返しに行きます。違う色の石を置いても赤く染まってしまうことから、遠州七不思議の一つになっています。

駐車場：150号線の道端 トイレ：なし 看板が分りにくいので注意が必要です。

## B16 三熊野神社

掛川市西大淵 5631-1 0537-48-2739



文武天皇の皇后が神前に皇子誕生を願い、念願がかなった事から、大宝元年に熊野権現の本宮をここに建立された由緒ある神社です。毎年4月の第一金・土・日曜日にかけて三熊野神社大祭が行われ、子授け神事

では全国各地から子授けを願って参拝者が訪れます。また、地固めの舞や御神輿の渡御行列、華やかな十三台の山車の曳き廻しや県無形文化財に指定されている「おかめ」「ひよっこ」の手古舞と祭り囃子の名調子は遠州地方に春の訪れを告げています。毎年、この時期は横須賀一体は祭り一色となり、伝統となっています。



駐車場：有り トイレ：有り <http://www4.tokai.or.jp/mikuma/index.html>

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## B17 横須賀町並み・ちっちゃな文化展

掛川市横須賀地区

横須賀の中心部は、格子窓の家や古い看板の商家など、城下町の面影を色濃く残した町並みで、気軽なウォーキングに最適なコースとなっています。昔ながらのお店にちょっと入ってみると遠州凧や祭りの白足袋を作っているところを見ることができます。

また、毎年10月に行われている「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」には全国各地からの芸術家や見物客が数多く訪れ、地元の人のみならず、横須賀高校生も一緒になって町を盛り上げています。一度行ったら、あなたもリピーターになり、一年が待ち遠しくなること間違いありません。



地元高校生が伝統文化を継承。



民家が展示館に早変わり。



文化展中は、人で一杯です。



地元祭りを展示した足袋屋。



祭りの準備で忙しい。

ちっちゃな文化展開催中は指定駐車場有り

掛川観光協会：

<http://www.wbs.ne.jp/bt/kakegawa/>

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

### B18 愛石下美術館

掛川市横須賀 1512 0537-48-2061



昭和 6 年設立。個人の蒐集した絵画、書、陶磁器、民芸品、スタンプコレクションなど、ささやかながら陳列しています。建物は昭和初期の鉄筋コンクリート建としては当地方には数少ないひとつになっています。多人数や突然のご来館は、お断りすることがあるそうなので、事前予約をお願いします。

駐車場：なし（横須賀支所に車を置いて、歩いて出かけることをお勧めします。）

### B19 愛石下羊羹

掛川市横須賀 1515-1 0537-48-2296

明治 40 年開業という老舗の和菓子屋。小豆、茶、栗など季節ごとの味わいが折り込まれた羊羹は、売切れ御免の人気商品です。あまりの人気のすごさに、近隣に迷惑をかけてはいけないと、土日でもやっていない日があります。ぶらっと行って店が開いていたら、まだ羊羹が残っていれば、超ラッキーです。

### B20 清水邸庭園

掛川市西大淵 5298-2 0537-48-6456

元禄時代から続く旧廻船問屋の庭園は回遊式で湧水があり、四季の花々が咲き湧水亭ではお茶と和菓子が味わえます。この庭は、湧き水を巧みに取り入れて水の豊かさ、清らかさに特徴がある名園となっており、平成 3 年には、静岡県みずべ百選に選出されています。



営業時間：10:00-16:00 定休日：木曜日 駐車場：15 台



# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## B21 横須賀城址

掛川市国安



初代大須賀氏から八家二十代、約二百九十年にわたり南遠地方の政治の中心であった横須賀城址は史跡公園として天守台跡などが整備されています。戦国時代末期は、東方の武田勢と西方の徳川勢が激しく衝突する勢力争いの舞台となったことで有名です。城跡からは、くっきりと駿河湾を一望することができます。当時は、もっと近くに、そして波の音も大きく感じる事ができたと思います。



駐車場：有り トイレ：有り

掛川観光協会：<http://www.wbs.ne.jp/bt/kakegawa/>

## B22 とうもんの里

掛川市山崎 223 0537-48-0045



「とうもんの里」とは、「稲面（とうも）」または「田面（たおも）」に由来すると言われる言葉です。何も無いところ、それが「田園空間博物館」となっています。視界をさえぎるものが何もなく、抜

けるような青空がどこまでも続き、人の心をホッとさせる風景になっています。こんなところでも県内外の日本中から視察が相次いでいます。それは、小学生をはじめ、多くの方を対象とした研修会や農業実体験が行われ、「人が集い、ふれあえる」空間となり、注目を集めているからです。また週末には、自慢の農作物などが販売される「朝採り昼市」が開かれており、大人気です。

公式サイト：<http://www.toumon-s.jp/>

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

### B23 「風街道」横須賀街道

掛川市三俣

横須賀街道は、年中西風が強い。そのため、住家を楨で囲った。楨は成長が早く、丈夫で刈り込むと葉が密生し、よく風を防ぐ。掛川市大東支所前の信号を西進して抜けると、すぐY字路になる。このY字路沿いは楨囲いが続き、昔の面影をよく残す。このY字路を左に行くと「掛塚街道」であった。Y字路正面の「宇田家」は、前が掛塚街道の基点で、楨の大木が目印になっていた。残念なことに、この木は今ではやや樹勢を欠く。



### B24 「寺の町」横須賀

掛川市横須賀

「城下町、横須賀」は、また「寺の町」でもある。この小さな町には本当にたくさんの寺がある。上級の武士が自前の寺を持ったからだという。有名な寺の一部を紹介する。

**山崎「撰要寺」** 初代城主大須賀康高建立。市指定文化財の山門は、もと城の「搦手門（不開門）」。その他、4 m超の「大須賀家の石塔」、県指定文化財「本多家の巨大な石塔群」、「キリシタン灯籠」、県指定文化財「大久保一丘筆 真人図」など文化財が多数ある。

**西大淵「龍眠寺」** 市指定文化財「13代から20代城主西尾氏の墓石群」がある。

**西大淵「窓泉寺」** 初代大須賀康高が亡奥方のために建立。県指定文化財「朱塗二層山門」。



**西大淵「恩高寺」** 明治6年に解体された横須賀城天守閣の「鯨（しゃちほこ）」が残る。

**西大淵「本源寺」** 「横須賀城の門」を移築した市指定文化財「山門」。「城主井上家の石塔」。

**西大淵「普門寺」** 飛鳥時代末慶雲元年、文武天皇勅願で行基菩薩が開基。現任職で1200代目で全国屈指の古刹。昔は西大谷の谷全体が寺域であった。法相宗13代、その後天台宗に改宗し現在に至る。市指定文化財「弁天堂」「八所神社旧社殿」がある。

駐車場・トイレ：いずれの寺にもある。ただし、参拝者用であるので心遣いが必要である。

問合せ：掛川市大須賀支所 TEL 0537-48-1000

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## C1 ならこの里 掛川市居尻190

桜・紅葉・森林浴・キャンプ・バーベキュー

掛川市街から北に約15km（自家用車で約30分、バス（駅北口5番乗り場）は1時間に1本程度）の、自然の中にある。北門交差点より西郷県道を一歩道。途中から道が細くなるが、構わず進む。



「～するならここ」から「ならここ」と名付けられた。日帰りに良し、宿泊に良し。

春は桜が美しい（駐車場混雑）。秋は紅葉が美しい。冬は木の実ひろいが出来る。

夏は、キャンプ及びバンガローでの宿泊を楽しめる。鮎の掴み取りもある。

バーベキュー設備が完備している（大人1200円 小人800円）。

年間を通して、コテージは人気（半年前から予約が必要なほど）。

園内の日帰り温泉 C2「ならこの湯」は、来客が絶えない（大人500円）。

園内への食べ物の持ち込みは自由。C2「ならこの湯」内の食事処以外には近所には食事出来る店はなく、自家用車なら帰路に C7「法寿庵」に寄ることを勧める。



日曜日と5月の連休と夏休みに開館する森林科学館「回帰館」では、木を使って自分の好きな「かたち」を工夫して作品を作る。

土日の午前9時～午後3時、野菜・総菜・果物などの朝市がある。

短いが少し揺れる吊り橋がある（大周りになるが自動車用道路を迂回可能）。

駐車場：有（100台以上）無料

トイレ：有（多数）

営業時間：午前9時～午後4時（受付）

11～3月の第1・3火曜日は休み

入場料：150円（キャンプ場）

子供：可

土産：木製品・地元の野菜・他（受付）

同伴：家族連れ向き

問合せ：0537-25-2055

公式サイト：<http://www.narakoko.co.jp/>



キャンプ泊3100円から。キャンピングカーも可。バンガロー（27棟）泊4500円から（マットレスと毛布の貸し出しあり、電源なし）。コテージ（5棟）泊20000円から（寝具・トイレ・風呂・台所・鍋・炊飯器・ポット・エアコン・ファンヒーターあり）。

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## C2 ならここの湯

掛川市居尻 179



森の音、川のせせらぎ、風の色など、山間の豊かな自然を肌を感じながら源泉 100%の温泉が楽しめる「ならここの湯」。  
ふんだんに木材が使用され木の温もりが感じられるやすらぎの湯です。また一度入ると肌はつるつる



になり、価格の安さとともに常連客でいつも賑わっています。子供（3歳以下）は18時以降からでないとい入浴できませんので、注意が必要です。（大人500円、子供300円）

また、昼は入り口横にある売店で地元のおばあちゃんが農作物や手製の金山時みそやおはたき、パンを格安で売っています。おいしい作り方のコツも伝授してくれています。

森の都ならここの温泉館 TEL：0537-20-3030

## C3 柴ちゃんちのジャージー牛乳

掛川市大和田 25 0537-25-2017

新鮮な牛乳やプリン、ヨーグルト、ソフトクリーム、スチックショー、チーズケーキなど多数販売しています。こくのある乳の味わいを色々な形や味で満喫できます。プリンはカスタードプリン、牛乳プリン、なめらかプリンと多種ありますが、中でも「そばプリン」という他では味わえないものもあります。さっぱりしていておいしいです。是非、ご賞味あれ！（土・日・祝日しか営業しておりません。）



## C4 法泉寺温泉

掛川市上西郷 5076

永享12年(1440年)に法泉寺温泉を開山した春屋宗能代和尚が夢の教えにしたがったところ、こんこんと沸き出でたと伝えられています。

泉質は単純硫黄泉で、神経痛、胃腸病などに効果があります。

(滝本館：0537-29-1126、小杉館：0537-28-0547)

## C5 倉真温泉

掛川市倉真



清流にはアユやヤマメが泳ぎ回り、近くには松葉の滝や百観音などの見どころも多くあります。泉質は単純硫黄泉で、神経痛やリュウマチに効くほか、肌が美しくなる美人の湯として人気です。

(松永荘、真砂館：0537-28-0111、翠月、落合荘：0537-28-0331)

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## C6 倉真赤石温泉

掛川市倉真赤石 5986 0537-28-1126



掛川市街から倉真温泉方面へ、途中から赤文字で「倉真赤石温泉」の看板が……。看板通りに進むと山道の急坂へ、本当にこんなところに温泉があるのかと半信半疑で、また細い道を注意しながら約5分程車を進めると急斜面にへばりつくように倉真赤石温泉があります。見た目はこの写真の通り、これが温泉？と疑ってしまいます。

この温泉は、おじさんが一人で食事を作ったり、薪を割ったりして、運営しています。肝心の温泉ですが、湯舟は小さく、大人3人がやっとという広さですが、単純硫黄冷鉱泉の源泉が常時溢れており、体も心も温まります。また、皆さんは「湯の華」を見たことがありますでしょうか？ここにすれば、いつでも見ることができる本物の温泉があります。

（大人 1050 円、子供 525 円）

また、小さいながらも休憩室が完備されています。そして、おじさんの作ってくれる料理も本物です。寒い冬には「ししなべ定食」（写真 800 円）はいかがでしょうか？（山にイノシシを取りに行ったのでは？と感じるぐらいゆったりとしていますので、腹ペコの人は他のメニューがいいかもしれません。）



その他にもうどん、そば、串焼き、豚もつ、たこ焼き、タマゴ井などもあります。温泉通の方には、秘境として知られているそうです。

（営業時間 午前 10 時～午後 8 時まで、元日も営業しているそうです。）



湯の華はさすがに写真に写りませんでした。



秋は、紅葉がきれいです。

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

食事処（料亭）・仕出し料理

## C7 法寿庵（ほうじゅあん）

掛川市上西郷5434-1

立地は田舎（山里）だが、本格的な料亭である。

五百年の歴史を持つ寺（法泉寺の末寺）を改装したもの（ご本尊はない）である。法泉寺の住職が東京から招聘した料亭であり、法事などの仕出しがメインであるが、手頃な価格のランチもあるし、大小宴会なども可能である。



ランチタイムは11時半～14時。

掛川市街から北に約7km。

場所は、少々、分かりにくい。

北門交差点から西郷県道を真っ直ぐに約5km北上し、道が狭くなって間もなく、左の写真の法寿庵の看板のところを右折して数百m。

C1「ならこの里」への行程の途中で寄るには、便利な場所である。（但し、夜は予約が必要なので注意）



上の写真は1575円の「特別ランチ」（左が「ミックスフライ」、右が「天ぷら盛り合わせ」、他にも数種がある）で、写真の他にコーヒーが付く。



左に示すのは1600円の「ちらし寿司ランチ」（未試食）。1800円の「中とろ鉄火丼」もある。

日本そば・うどん・喫茶（日本茶）もある。

夜は予約のみ（21時まで）。

仕出しは、法事料理が3675円より、会食料理が2625円より、オードブルが2000円より。

駐車場：有（約20台）無料

子供：可

同伴：家族連れ・カップル・宴会

問合せ：0537-29-1819

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## C8 五明の茶畑、星の見える丘

掛川市五明



掛川駅から県道39号線で北へ。石畑の信号を左へ曲がって五明の丘を登る。駅から7キロ、車で15分。細いなだらかな道を登り切ると、眼前に一面の五明の茶畑を見下ろすことができる。

晴れた夜は手が届きそうな満天の星！宝石を散りばめたようだ。ここで彗星も発見された。「中村、西村、マックホルツ彗星」と記された碑もある。広い輝く星空を眺めていると、自分の星を発見できそうな気がする。



（路上駐車、夜は真っ暗なので、昼間に一度下見することをおすすめします。）

## C9 ねむの木村 桜木池

掛川市上垂木あかしあ通り一丁目1番地



県道39号線石畑の信号に、ねむの木村の標識が出ている。「ねむの木村」案内板から右に入って1キロ。掛川駅から20分。

桜木池には、冬になるとオシドリの群れが飛来する。また、冬の晴れた日は、白鳥が気持ちよさそうに昼寝をしている。「森の喫茶店」でコーヒーを飲みながらのんびり時を忘れるのもいい。

日本の野鳥555種類の内ここには107種類の野鳥が生息する。

春は桜の名所で、季節には沢山の市民が訪れる。また、ねむの木学園が見えてくるあたりに道をカーブすると、突然目の前の山一面に息をのむような見事な桜が迎えてくれる。

0537-26-3900 駐車場有り



## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

### C10 吉行淳之介文学館 掛川市上垂木 0537-26-3923



ねむの木学園の創始者である宮城まり子さんと交遊関係のあった文学者 吉行淳之介の蔵書や吉行さんから宮城さんに宛てたラブレター等を展示しています。

入場料：大人 600 円、子供 250 円

(ねむの木村子ども美術館とのセット入場券 大人 1000 円、子供 400 円有り)

入館時間：10:00-17:00 駐車場有り



### C11 ねむの木子ども美術館 どんぐり

掛川市上垂木 2 9 7 9-1 0537-26-3988



ねむの木学園近くに作られた、ねむの木子ども美術館「どんぐり」は、ねむの木学園に通う子供達の絵を展示している。ねむの木学園とは 1968 年、日本で初めての肢体不自由児のための養護施設として設立された。この変わった形の美術館は、藤森照信さんが設計しており、浜松市浜北区にある秋野不矩美術館と似たおもむきになっている。名前の通り、どこか「どんぐり」に似ているような気がします。

また、美術館の 2 階から外に出て、自然と触れ合うことができる構造になっており、時間があっという間に過ぎてしまいます。

美術館の中には、子供たちの感性と 1 つ 1 つ細かなところまでしっかりと描かれた絵でいっぱいです。気に入った絵は、絵はがき (1 枚 100 円) で購入できます。また、更に 700m 先に「緑の中」というねむの木子ども美術館もあります。こちらもぜひ！

入場料：大人 600 円、子供 250 円

入館時間：10:00-17:00 駐車場有り





# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

フェアトレードの雑貨・喫茶

## C12 ヴィレッジ 掛川市下垂木303-1

元はお寺。アジアやアフリカの雑貨や茶葉やコーヒー豆等を販売しているが、所謂フェアトレード商品が主であることが特徴。国内作家の作品も扱う。

喫茶は、各国のコーヒー（300円）や紅茶（300円）やココア（400円）だけでなく、チャイ（400円）や各種ハーブティー（300円）も人気。独特の寛げる雰囲気の中で読書しながら飲むもよし。

以前は毎月第4日曜日にフリーマーケットが開催されていたが、駐車場を借りられなくなって、休止中。中（旧大東町、昔の中村）のガランセがカレー屋を出店していた。



フェアトレードとは、発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動のこと。そのため、有名ブランドではないが良質な製品が並ぶ。オーガニック製法の商品が多い。



掛川市街から。北西に約4km。

国道1号線の北門交差点から西郷県道を北上1.6km。



上西郷交差点（左の写真）を左折。

400m西進して、突き当りを右折。

道なりに1.5km進むと、右側に店（右の写真）がある。一見、店に見えぬが、右端の写真の小さな看板が目印である。



定休日：不定休 営業時間：午前11時～午後6時

駐車場：有（約15台）無料（表4台、裏約10台）

同伴：一人ぶらり・カップルで・友達と 問合せ：0537-22-3799

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

動物園（鳥と魚のみ）・植物園

## C13 掛川花鳥園 掛川市南西郷1517

大温室を有し、一年じゅう、多数の鳥と植物が、展示されている。鳥は、基本的に檻に入っておらず、自由に触れ合えるものも多い。入場料は少々高いが、一度は行ってみる価値はある。



掛川駅南口から南に約800m。途中500m辺りから道が狭くなるが、構わず進み、東名高速道路を狭いトンネルでくぐり、更に一本道を進めば良い。

入口を入ったところはまだ温室ではなく、ペンギンやカモや黒鳥などが居る。



温室に入ると、400席のレストラン・休憩所であり、天井一面から花が吊り下げられている。

食事は、バイキング形式で、土日祝日・年始・GW・お盆期間は大人1500円・小人800円、平日は大人1000円・小人600円。染飯（そめい）などの御飯の種類が多いのが特徴、スイーツも充実。

レストランの右手に、蓮池を中心として数区画に区切られた大温室があり、多数の鳥が放し飼いされている。（少数、繋がれたり檻に入った鳥も居る）



区画の区切りは目立たぬ金網であり、隣の区画に行くには、同居不能の鳥が混ざらぬよう、二重ドアの通路を通る。



50～100円で鳥や魚の餌が売られており、餌をやると鳥や魚が寄ってくる。

レストランの左の屋外では、日に3回（10時半と13時と15時から）鷹匠ショーが行なわれる。（温室内で



はないので、寒い季節には防寒着を忘れずに）

営業時間：午前9時～午後5時

駐車場：有（乗用車400台、バス20台）無料

入場料：大人1050円・小人525円・幼児無料

（誕生月無料、高齢者や障害者は2割引、ツイッター割引あり）

トイレ：有

同伴：家族連れ・カップル・知人を案内

土産：掛川物産品等

問合せ：0537-62-6363

公式サイト：<http://www.kamoltd.co.jp/kke/>

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

神社（梅、紫陽花）

## C14 龍尾神社

掛川市下西郷84

古来より掛川城主の崇敬をあつめてきた神社。花庭園では、早春にはしだれ梅（入園料500円）を、梅雨には紫陽花（入園料300円）を楽しめる。ドラえもんが出迎えて呉れる。



場所は少し分りにくいですが、近づけば標識がある。国道一号線の北門交差点より西郷街道を北上500m、左手前にENEOSのある交差点を右折して東進100m、2番目の交差点を左折して北上50m、最初の交差点を右折して東進200m。

駐車場：有（60台）無料 問合せ：0537-23-0228

公式サイト：[http://www.geocities.jp/tatsuo\\_jinja/](http://www.geocities.jp/tatsuo_jinja/)

食事処（インド風カレー）

## C15 ビニータ（Vineeta） 掛川市上張865-3



本格インド風カレーの専門店であり、昼食ときにはかなり混み合う。大きなナンが焼きたて。

掛川市街から南に約2km。掛川駅南口から1.2km（徒歩15分）。塩町南交差点（掛川駅北口から東に300m）のすぐ南の通称「上張のガード」から南に1.0km、上張南交差点を過ぎて数十m、右手にある（上張南交差点には交差点名

の看板が無い）。東名高速道路掛川ICからは、右（西）に出て200m、最初の信号を左折して数十m、右手。

ランチタイムは、平日は11時半～14時（オーダーストップ13時半）、土日祝は11時半～15時（オーダーストップ14時）。

Aランチ（写真）1050円：カレー（25種中の1種）、ナンまたはライス、ドリンク。

Bランチ1380円：Aランチにタンドリーチキンと自家製ヨーグルトが加わる。

スペシャルランチ1580円：Bランチにシークカバブ（シシカバブ）とカチュンバー（インド風さっぱりサラダ）が加わる。

カレー25種中のいちばん人気はバターチキンの由。ドリンクにはラッシーもある（上のAランチの写真）。

ディナータイムは17時半～21時半（オーダーストップ20時45分）。

駐車場：有（約20台）無料

問合せ：0537-21-3718

定休日：毎週月曜日および月2回火曜日（祝日のときは翌日）

同伴：一人ぶらり・家族連れ・カップル・知人と



# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## C16 高天神城址 掛川市上土方・下土方

小規模ながら、山城として堅固さを誇り、戦国時代末期には武田信玄・勝頼と徳川家康が激しい争奪戦を繰り広げました。標高 132m の鶴翁山を中心に、放射状にのびるいくつかの尾根を巧みに使った山城です。天然の堀を形成していて、守るに守りやすく、攻めるに攻めにくい構造となっていたので、「難攻不落の名城」として知られています。また、優美



な山の形から鶴舞城の別称を持ち、国の史跡に指定されています。横須賀城とも関係が深く、歴史を勉強してから城跡を訪れると、戦国時代の知恵を現地で垣間見ることができそうです。城の中をめぐるハイキングを楽しんでみたらいかがでしょうか？

高天神城址から見た大東地区。

駐車場：有り トイレ：有り 同伴：家族、友人、歴史愛好家

問い合わせ：掛川市役所商工観光課 0537-21-1149

高天神城観光ボランティアガイド受付（要予約）：大東観光協会 0537-72-2701

## C17 源氏ホタルの池 掛川市大坂

夏が近づく 6 月中旬に源氏ホタルが華麗に舞う風景を楽しむことができる場所があります。その名も「源氏ホタルの池」。大東地区では夏の名所となっています。車を止める場所がないので、シオーネの駐車場に車をおいて、南に歩くこと約 5 分で到着です。キラッと光るホタルの輝きを目指しましょう。



ホタルを勉強できますので、懐中電灯持参。

意外と大きな池です。夜は気をつけて下さい。

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

菜の花・桜・向日葵・コスモス

## C18 シオーネ脇の花畑 掛川市大坂 7373

掛川市街から県道掛川大東線（県道38号線）を南下すること約1.5km（自家用車で約25分、駅北口3番乗り場より大東営業所行・浜岡営業所行のバスにて約30分で釜田入口下車徒歩10分）、旧大東町にある、掛川市文化



会館シオーネ及び大東図書館の、西隣りに広がる。

春は菜の花と桜を、夏は向日葵を、秋はコスモスを楽しめる。尚、花は、自由に引き抜いて持ち帰って良いそうだ。

「シオーネ」は“遠州灘の塩の音”から名付けられ、シオーネと図書館の屋根も「打ち寄せる波の形」となっている。近隣に食事処はない。

駐車場：有（約210台：シオーネ及び大東図書館）

トイレ：シオーネ内に有

（月曜・第4火曜・年末年始は閉館）

営業時間：午前9時～午後5時（シオーネ）

問合せ：0537-72-1234（シオーネ）



[http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/bunka/b\\_sisetu/sione.html](http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/bunka/b_sisetu/sione.html)（シオーネ）

## C19 八坂神社（掛川市中）

県道掛川大東線（県道38号）を7km下り小貫交差点に至る。直進して県道247号を2.5km進んでY字路を右にとる。2つ目の信号を左折しすぐの所。右折した反対側にはトッパムーアの工場がある。

不思議なことに社殿が2つ並んでいるが、向かって左が「八幡宮」右が「八坂神社」である。木立の中の静かな雰囲気と社殿の古さが見所。「八坂神社」の「祇園祭」は、祭りとお囃子が県無形民俗文化財に指定されている。祭りは、毎年10月第1土曜、日曜日に行われ、中交差点近くの「満勝寺」付近が見物によい。一本柱万度型屋台、神輿などが見所である。



駐車場：無（路肩駐車可） 入場料：－ トイレ：無 同伴：家族、歴史好きの人と

食 事：八坂神社の信号を南に直進し突き当たりを右折、1.5km進んで中の4叉路信号の手前右に「うなぎの熊切」TEL0537-74-2746、信号を直進しすぐ右に「満泉亭」TEL0537-74-2635 がある。

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

寺院（紫陽花などの花）

## C20 本勝寺

掛川市川久保 8

紫陽花などの花が沢山ある寺（通称「あじさい寺」）であり、植物（ナギとイヌマキ）で出来た山門が出迎えてくれる。6月だけ食事処「地藏庵」（蕎麦と甘味）も開く。

掛川市文化会館シオーネの交差点から東に 250m、狭い道を北上 300m。

駐車場：有・無料 問合せ：0537-74-2050



寺院

## C21 満勝寺

掛川市中 3 5 2 9

中（昔の中村）にある、由緒ある寺。

夏の土用の第一丑の日の午前中（7時～正午）に「ほうろく灸」が行なわれる。頭痛に効くという。また、これを受けると夏を乗り切れるとも言われている。

大東町中交差点より南西に 100m、右側。

駐車場：有・無料 問合せ：0537-74-2646



## C22 貞永寺

掛川市大坂 3 7 0 6 - 1 0537-72-2504

寺蔵の古文書によると、貞永二年(1233年)、四条天皇の綸命によって、貞永寺の創建されたことが記されている。その後約一世紀を経て、後醍醐天皇が鎌倉幕府討伐を企てた元弘の乱(1331年)の頃に寺勢は零落していたらしい。現在は、平成十五年二月から十六年十二月にかけて全解体修理が施され、春になると桜の名所として地元の人たちに愛されている。 駐車場・トイレ有り 拝観料：無料



修復された本堂。



旧本堂にあった屋根瓦。



本堂内部には朱塗りの駕籠が保管されています。

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

### C23 大浜公園 掛川市大坂

大浜公園は、県立自然公園に指定されています。桜の名所で貞永寺より山頂に続く桜のトンネルは圧巻です。公園頂上の展望台からの眺望は、天気の良い日は、南に遠州灘、北には南アルプス連峰、富士山が一望でき、雄大な景色を楽しめる絶景スポットです。公園内は、整備された遊歩道があり、つつじや山ゆり等が群生しており、園内を一巡するハイキングも楽しめ、家族向きなスポットです。

問い合わせ：掛川市役所 商工労働観光課 観光振興係電話：0537-21-1149

掛川市サイト：<http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/south/ohamakouen.html>

駐車場・トイレ有り 無料



公園の展望台。



展望台より遠州灘を一望。

### C24 大東温泉シートピア 掛川市国安2808-2 0537-72-1126

掛川市の最南端である遠州海岸沿いに天然温泉を利用した日帰り温泉スポット「大東温泉シオーネ」があります。和風・洋風・プールゾーンの3つのタイプに分かれ、9種12ヶ所の温泉があり、大人500円、子供250円で入館できます。洋風ゾーンの天然ハーブ湯は疲労回復・リラクゼーションに効果があり、地中海のような造りでリゾート気分が楽しめます。また、うたたね処(仮眠室)では日頃の疲れた体もリフレッシュできます。泉質は美肌効果としても有名な、ナトリウム塩化物温泉です。また、館内には物産館もあり、地元特産物の販売も行っています。

営業時間 10:00～21:00

家族室・・・1室3時間まで 1,900円(延長1時間ごと 500円)

館内着・150円 バスタオル・150円

館内着・バスタオルセット・200円 フェースタオル(販売)200円

休館日 毎週火曜日(この日が祝祭日の場合は営業)

駐車場 無料(201台収容)

公式サイト：<http://www2.odn.ne.jp/~aat89440/>

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

「ちょっと一休み」

「市章」

掛川市の市章は、頭文字の「K」と市の花である「キキョウ」をモチーフにしています。  
平成17年の合併時に一般公募で決定しています。



尚、市章の使用には、申請書が必要です。

「花」

「桔梗」：掛川藩藩主であった太田氏の家紋が由来です。

「木」

「金木犀」：10月になると一斉に花が咲き、いい香りの中で秋祭りが行われます。

「鳥」

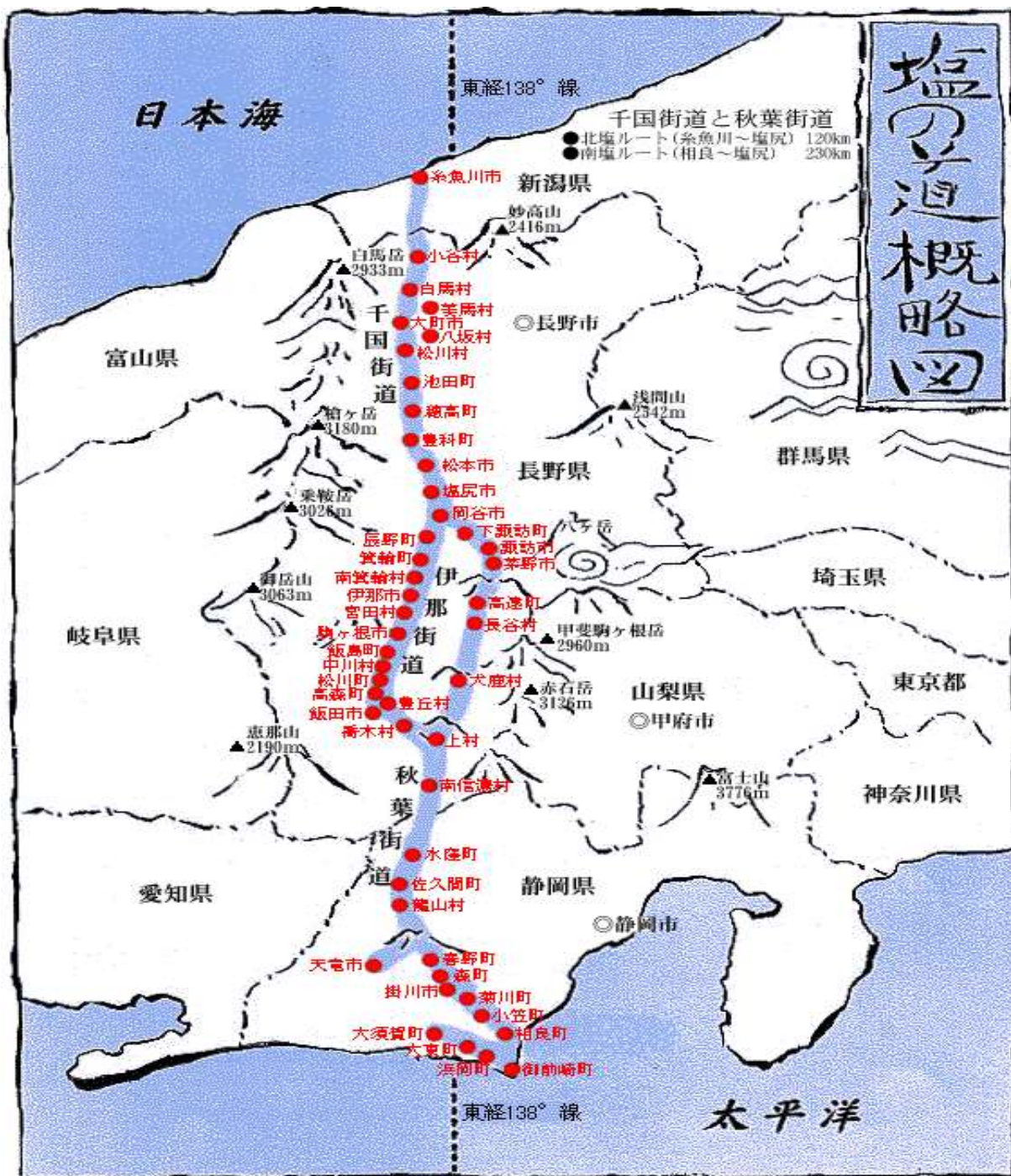
「鶯」：うぐいすの泣き声が聞こえ出すと春の訪れを感じます。



# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## D. 塩の道

「塩の道」は、列島を東西に貫く旧東海道や旧中仙道などの官道とは異なり、庶民の生活を支えるために自然に発達した南北道で、秋葉街道・信州街道及び千国街道・伊那街道などと呼ばれてきた。この道は、古代から近代に至る物流の道、戦国時代の天下取りの道、また、古代から近代にわたる信仰の道として、それぞれの時代を担ってきた。



(図は掛川市制作「塩の道ホームページ」による。)

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/sionomiti/index.htm>

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## 掛川市内の「塩の道」

「塩の道」という名の由来は、海辺で精製した塩を「かます」に詰め、川舟や馬の背・荷車等に乗せて塩のない内陸部に運んだことによる。市内にはいくつかの「塩の道」があったが、代表的なのは相良からの道で、市内へは南東の上内田から入り北西の原田へ抜けて行く道である。菊川市の御門や市内の上内田、旧市内の塩町には塩問屋があった。

現在「日本海・太平洋塩の道会議連絡協議会」によって示されている道もこの道だが、古道そのものではない。近年の土木工事などによって昔の道が失われ、通行不能になっている所があるからだ。現道の分岐点には「道標」が、また、要所には「塩の道モニュメント」が設置されていて歩きやすい。雰囲気味わい昔をしのいでゆっくりと歩くのに適した道だ。

市内の「塩の道」は、次の四つに区分すると分かりやすい。どの区間も大人向で、駐車場、トイレ、食事場所等が限られるので、あらかじめ計画を立てて歩くことをお勧めする。

### D1 菊川市応声教院から陣場峠、掛川市立病院まで

菊川市の応声教院を出て県道掛川小笠線（県道386号）を市内方面へ向かい、交差点を過ぎて御門橋の手前（川沿いではなくもう一本手前）を右折する。御門の秋葉燈三叉路を左に下り、上小笠川沿いに生活道路を進んで一旦県道へ出て市内に入る。再び旧道へ入り、桶田、段金谷、上内田、さらに下板沢から静鉄バス大坂線下りの青田停留所に出る。そして、その横にある秋葉神社祠左の狭い坂を上り、茶畑の中を陣場峠に至る。



（上内田小から見た塩問屋跡、暗闇坂方面）

この区間には、段金谷の「秋葉燈・庚申塔・平成復刻の自然石道標」、上内田の「塩問屋跡（一般住宅）」「暗闇坂（木が覆い昼なお暗い坂だったが今はその面影はない）」、下板沢の「自然石道標」「秋葉燈」「板沢神社」、上板沢青田の「陣場峠」などがあり、なだらかな茶畑の中を歩く道は歩いていて楽しい。特に陣場

峠は、家康の掛川城（今川）攻めの拠点で、眼下に市内、遠くに南アルプス、富士山などが望めすばらしい。掛川市立病院側へ下りる道は非常に急なので注意が必要だ。「塩の道」古道は、陣場峠には寄らず左の茶畑と草藪の中を矢崎交差点へ直接下りる。通行は可能だ。

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）



（段金谷の秋葉燈・庚申塔）



（陣場峠からの粟ヶ岳方面を望む）

この間、青田バス停から陣場峠までを除き車でもよい。駐車場・トイレは、応声教院、板沢神社、掛川市立病院にある。子供連れでもよいが大人向きである。食事のできる所は青田トンネルより北側に何軒かある。

また、土産は、青田バス停から掛川大東線（県道38号）を少し下った、板沢バス停の近くの丸山製茶で掛川茶が買える。そこで経営する向かいの菓子店「きみくら」には、掛川茶に合った和菓子があり、お茶とセットになった土産も販売されている。



（自然石の道標）



（板沢神社から県道掛川大東線方面を望む）



（陣場峠の野菊と塩の道モニュメント）

## D2 掛川市立病院から秋葉道団地入口まで

市立病院から県道掛川大東線（県道38号）へ出て、東名高速道路のガードをくぐる。すぐ右側に「味千ラーメン」の看板（店は道の左）がある。その看板の奥の荒地の中に「素掘りのトンネル（本来の「塩の道」は、この上を通っていたが茶畑になっていて通行不能）」がある。頭を下げてくぐって進むと市道の交差点へ出る。そこを道標に沿って進み、新幹線をくぐり、東海道線を渡ると旧東海道の七曲へ出る。「塩の道モニュメント」「旧東海道のモニュメント」「七曲の説明板」「東番屋跡」などがあり、近くには「秋葉燈」もある。さらに進むと「塩問屋」が立ち並んでいた塩町（現在は地名が残るのみ）に至る。

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）



(素掘りのトンネル)



(七曲の説明板と旧東海道のモニュメント)

市内へはもう1本別道がある。味千ラーメンの交差点北西角の「揚張神社」を経て、「大日寺（キリシタン灯籠が有名）」の東側を通り、家並みを抜けて新幹線・東海道線ガード手前で県道掛川大東線（県道38号）へ出て塩町に至る道である。

塩町から向こうの旧市内を通って大池橋までのコースは、旧東海道と重なるのでそちらの項に譲る。ただし、十九首からは逆川を渡って旧国道1号線を横断する。そして、最初の細道を左折し、倉真川の土手に出て大池橋に向かう。土手からの眺めはなかなかよい。本来の「塩の道」は旧国道1号線と重なるが、交通量の関係で歩きやすい道筋をとっている。

大池橋を渡るとすぐ五叉路になるが、川沿いの一番右の道へ曲がる。曲がるとすぐ細い生活道路がありそこを左に折れる。10mも進むとすぐ「秋葉山遥拝所（秋葉山に参拝できない東海道を急ぐ旅人がここで祈った）」の裏に出る。さらに標識に沿って細い道を進むと「県道掛川森線（県道40号）」に出る。道なりに進み右に折れ、国道1号線バイパスの下をくぐって、秋葉道団地入口の交差点北東にある「秋葉燈」に至る。旧道は、県道40号に出ず、北に向かい秋葉道団地を巻いて「十二所神社」に至るが、現在通行不能である。



(秋葉山遥拝所)



(遥拝所近くの古瓦)



(倉真川の眺め)

「素掘りのトンネル」はもちろん車は通れない。七曲にも、大池橋付近にも駐車場はない。また、大池橋から秋葉道までの生活道路は、非常に細く車の通行は無理である。駐車場は、掛川市立病院、旧市内の駐車場である。トイレは、掛川市立病院、掛川城公園、掛川駅等にある。食事場所は旧市内にたくさんある。子供も不可能ではないが、大人向きの道である。

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## D3 秋葉道団地入口から家代、細谷まで

秋葉道団地入口交差点を北進して「新田の切通し」を抜けた所で、最初にあるアパート際の細道を左折西進すると「十二所神社」の門前が出る。そこに「塩の道モニュメント」がある。さらに標識に沿って進むと垂木川にぶつかる。川沿いにしばらく北上すると集落の中に「秋葉山常夜燈（金属製の変わったもの）」がある。さらに進み、突き当たりを左折して「小津根橋」を渡る。渡ってすぐ右折し垂木川沿いに進む。150mほど真っ直ぐに進むと道は川を離れ家並みに入る。そこには「六地藏（道の左にあり、石彫りの小さいものなのでよく見ないと見落とす）」「秋葉燈・石の道標（右側の大工さんの家の前にあるが、掘り出したものらしく秋葉燈に立掛けてある）」が揃っていて、いかにも「塩の道」らしい所である。



（六地藏）



（「左あきはみち」の文字）



（秋葉燈・道標）

さらに北上し、空き地の所を左折して西進すると家代川にぶつかる。川沿いに右折して北上する。いくつか橋があるが、その中の「江津橋」を左折して渡る。桜木保育園を右手に見て道なりに進むと「福来寺」の下に出る。そこに「秋葉燈（最近建てた鞘堂で、火袋は福来寺にある）」「塩の道モニュメント」がある。ゆったりとした感じのよい所である。そこを左折して西に向かい「宇洞トンネル（古道はトンネル上の細谷村ノ峠を通過していたが、今はゴルフ場になり通行不能）」をくぐってしばらく行くと、県道掛川森線（県道40号）に出る。

この区間は、垂木川、家代川沿いの古い道で、道は狭く車のすれ違いは難しい。しかし、のどかで豊かな雰囲気満ちており、やはり歩くのを楽しむ大人向きの道である。駐車場・トイレは、「十二所神社」「福来寺（駐車は広い路側）」にある。

食事は、県道掛川森線（県道40号）のいこいの広場入口の所にある和食処「たかやま」がよい。腕の良い板前である御主人の作る料理はすばらしい。

また、いこいの広場入口を南進してヤマハのバイク教習所の方へ右折すると、市内最大の「和田岡古墳群（国指定文化財）」に出る。車でないと行けないが、ここも一見の価値がある。

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）



(江津橋)



(福来寺下の秋葉燈鞘堂・塩の道モニュメント)

### D4 細谷から原田まで

「宇洞トンネル」を出て県道掛川森線（県道40号）に出る直前に、軽自動車がやっと入れる程の生活道路がある。そこを右折して家並みの中を山の手に向かうと、行く手の森の中に「若一王子神社（急な石段を上ると、小ぶりでかわいい狛犬を置いた社殿があり、あたりは森閑として厳かである）」が現われる。



(可愛い顔の狛犬)



(若一王子神社)

神社を左回りに巻いて静かで趣のある里中の道を進む。集落の中の三叉路を左折西進すると県道掛川森線（県道40号）に出る。右折して県道を100m程行き、床屋の手前を水路沿い（「塩の道の道標」がある）に右折する。右折するとすぐに一人一人が通れるくらいの水路沿いの道がある。そこを左折する。やがて道は広くなり、しばらくは明るい田んぼ中を県道掛川森線（県道40号）と平行して進む。すると、県道原谷倉真線（県道81号）にぶつかる。横断して進むと、左へ大きく曲がるゆるい下り坂である。下り切った所を右に入る。道は点在する住宅の中を少し上るが、下った所が「長福寺」である。

「長福寺」は、赤い山門を備えた古刹で、門前に「秋葉燈」「石の道標」「塩の道のモニュメント」等があり、市内「塩の道」の白眉といえる。本堂の裏山には鞘堂に入った大きな「役の行者堂」があり、釣鐘の伝説を今に伝える。この裏山からの眺望はすばらしい。

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）



(道標・モニュメント)



(「左あきはみち」の文字)



(門前の秋葉燈)



(長福寺山門)



(本堂裏からの眺め)



(役の行者堂)

長福寺の門前にある「道標・塩の道モニュメント」の前を左折して西進し、県道掛川森線（県道40号）を横断した所に比較的新しい「石の道標（長福寺・役の行者堂・八幡神社までの距離が、昔の距離単位〈町〉で表示してある）」がある。さらに進んで、原谷の町を通る旧県道を突っ切って細い生活道路を行くと「天竜浜名湖鉄道」の小高い線路に突き当たる。線路沿いに右折すると原谷川の土手に出る。



(天竜浜名湖鉄道と道標)



(原谷川土手からの眺め)



(原谷橋から上流を望む)

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

土手を離れ、道なりに右手の家並みの中を行くと町筋から北上して来る旧県道に出る。そこを左折し「原谷橋」を渡る。渡ってすぐ左折し坂を上り切った所を右折する。下りの道を進んで天竜浜名湖鉄道の踏切を渡る。さらに道なりに進むと森の中にある「猿田彦神社（猿田彦は旅の神で、古々しい社殿はいかにも塩の道の守護神といった感じである。鳥居前に塩の道モニュメントがある）」に着く。神社の裏には整備された茶畑が広がり、原野谷中学校、建設中の新東名高速道路などが見渡せて清々しい。



(モニュメント)



(木立の中の猿田彦神社)



(猿田彦神社裏の茶畑からの眺め)

猿田彦神社左の急な坂道を下ると、天竜浜名湖鉄道の「原田駅」の裏に出る。駅を右手に見てさらに進むと、道は荒れて寂しくなる。訪れたのが秋だったので、道は芒に被われ、植林して放置されていると思しき栗の木から落ちた毬で埋め尽くされていた。車の通行は無理である。その道を進むと、天竜浜名湖鉄道に近づき、踏切を越えてくる旧県道に突き当たる。上には新東名高速道路が偉容を見せる。「猿田彦神社」からここまでは、県道掛川森線（県道40号）とほぼ並行するが両者をつなぐ道はない。



(原田駅裏の道)



(芒の道)



(農作業小屋のある道)

さて、猿田彦神社から先の本来の「塩の道」は、原田駅裏を通過した所から天竜浜名湖鉄道の線路、さらに県道掛川森線（県道40号）を横断し、右手の山上を通って森町に抜けていたが、現在は踏み切りの廃止と新東名高速道路の工事のために通行不能である。

ここまでが市内の「塩の道」である。この先は、旧県道掛川森線左折して進み、さらに右折して新東名高速道路の下をくぐり（近くに新東名の「森・掛川インター」ができる）森町に入る。そして、「善正庵池」の脇を通り「賀茂神社」「秋葉山常夜燈」を経て天竜浜名湖鉄道「戸綿駅」に至る。それから、道は延々と糸魚川まで続くのである。

ところで、初夏を彩る花菖蒲で有名な「加茂荘」は、長福寺から県道掛川森線（県道40号）を北進し、原谷大橋の手前を右折（案内板あり）して1km程である。



## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）



（突当りの旧県道から県道40号を望む）



（市境を行く天竜浜名湖鉄道）

細谷からこの間は所々に細い道があり、やはり車の通行は無理である。計画を立てて歩くのを楽しみたい。子供向きの道ではない。食事は、県道掛川森線沿いに何軒かの食堂がある。駐車場は「若一王子神社」「長福寺」にある。「猿田彦神社」は車1台分くらいのスペースしかない。トイレは「若一王子神社」「長福寺」にある。

### 「塩の道」情報

- 1 問合せ 掛川市商工労働観光課 TEL 0537-21-1149
- 2 「塩の道ホームページ」（日本海・太平洋塩の道連絡会議協議会編）  
<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/sionomiti/index.htm>
- 3 「掛川市サイト」（「観光・ロケ」の欄所収）  
<http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/>
- 4 参考図書
  - ①「塩の道ウォーキング」静岡新聞社発行 県内に限定され、地図がよい。
  - ②「塩の道ウォーク」井上 如著  
日外アソシエーツ発行 全行程の道取りに詳しく、  
「塩の道」に関連した種々の情報が掲載されている。

## 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

また塩の道には、こんな素敵な景色やお店があります。是非一度お出かけ下さい。

### 塩の道近くの景色街道

### D5 三十川のコスモス街道 （掛川市家代の三十川（みそがわ））

国道一号線のバイパス大池 IC を潜り、西部交番の交差点を真直ぐ北上 1.5km。Y 字路を左折して、桜木小学校の入口を過ぎ、道なりに進む。始めて信号から三十川のコスモス街道が始まる。約 1km 続く。三十川自治会が丹精込めて育てている。毎年 7 月の草刈に始まり、下旬に種まきして 9 月中旬に開花、10 月初めの秋祭りごろ満開となる。平行して流れる家代川の堤にもコスモスが続く。季節に、塩の道



を尋ねるときはお忘れなく！！

駐車場：無                      トイレ：無

同伴：家族で



# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

喫茶・文具（隠れ家的雰囲気）

## D6 ステーションリーカフェ konohi

掛川市家代855-1

民家を改装した喫茶店兼文具店で、知る人ぞ知る隠れ家的雰囲気の癒しの空間。

コーヒーの他、特製スープと手作りパンが御自慢。

文具は、品揃えは多くないが、拘りの品が並ぶ（外国製品が多い）。



夕暮れ時の店内（文具売り場）



昼間の店内（喫茶スペース）



左の写真は、  
スープとパン  
2個700円、  
パン2個250円、  
コーヒー  
400円。



掛川市街から北西に約5km、「D5 秋にはコスモスが咲き誇る道路」沿い。

掛川駅北口から西に一本道、やがて道は北向きに転じる。掛川駅から2.2km、国道一号線の大池西交差点を渡る。北上2.0km。右上の写真の交差点（「製菓橋本屋」が目印）を左に入る。北上1.0km、左手に店がある。

店を見落とさぬように注意（左の写真の小さな看板が出ている）。店の更に北に駐車場。



営業時間：火曜日～土曜日の正午～午後7時

駐車場：有（4台）無料

同伴：一人ぶらり・親友と

問合せ：0537-26-1036

ブログ：<http://konohi.hamazo.tv/>

# 歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

## 「ちょっと一休み」

### 「報徳訓」

父母の根元は天地の令命に在り      身体の根元は父母の生育に在り

子孫の相続は夫婦の丹精に在り      父母の富貴は祖先の勤功に在り

吾身の富貴は父母の積善に在り      子孫の富貴は自己の勤勞に在り

身命の長養は衣食住の三に在り      衣食住の三は田畑山林に在り

田畑山林は人民の勤耕に在り      今年の衣食は去年の産業に在り

来年の衣食は今年の艱難に在り      年年歳歳報徳を忘るべからず

お父さん・お母さんが何故いるのかというと、それは、それぞれにおじいさん・おばあさんがいたからです。おじいさん・おばあさんには、そのまたお父さん・お母さんが・・・というように、ずっとさかのぼっていくと天地（大自然）の命ずるところにいきつきます。

さて、自分がこうしていられるのは何故かということ、それはお父さん・お母さんが大切に育ててくれたからです。また、自分の子供や孫が心豊かに生きていくには、そのお父さん・お母さんの愛情と努力が必要です。

お父さん・お母さんの豊かな生活は祖先の働きと努力があったからです。自分の豊かな生活は、お父さん・お母さんが良い行いを積み重ねてくださったおかげです。自分の子供たちが豊かな生活を送るためには、今、自分が真面目に学び働くことが大切です。

ところで、元気で長生きするためには、衣・食・住の三つが大事です。この衣・食・住という人間の生活のもとになるのは、自然の恵みを生み出してくれる田畑山林です。その田畑山林も人々の働きがなければ恵みを生み出しません。今年の衣・食は昨年一生懸命働いたおかげです。来年の衣・食は今年の苦勞や頑張りにかかっています。

色々なものの良さを引き出す努力（報徳）を、いつまでも、いつまでも忘れないことが大切なのです。

「我がまち自慢」【a.景色・自然・観光】

2011/3  
掛川市民大学 Cグループ

No.	紹介したい場所	街道	マップ	本文	旧市町	地区	一言
1	粟ヶ岳	東海道	に-③	○	掛川	東山	富士山も良く見える、“茶”文字で有名
2	小夜の中山公園	東海道	ほ-④	○	掛川	日坂	晴れた日は富士山を眺望。ご来光・初日の出県内屈指のスポット。
3	市役所(6F)屋上	東海道	は-⑤		掛川	掛川	粟ヶ岳の横に富士山が見えます。
4	日坂・東山	東海道	ほ-④		掛川	東山・日坂	広大な茶畑、新茶の季節は甘いにおいて心がリフレッシュ！
5	こちの里(東山口、寺ヶ谷) 梅園	東海道	に-⑤	○	掛川	東山口	梅園。2月第2週ごろの日曜日に、梅まつり。売店も出る
6	鞍骨の池	東海道	に-⑤	○	掛川	東山口	夏には蓮が咲き誇る。
7	22世紀の丘公園、たまりーな	東海道	に-⑤		掛川	西山口	子どもと一緒に遊ぶならここ。アスレチックでのムキは禁物！
8	原川の松並木	東海道	ろ-⑤	○	掛川	曾我	東海道のだ真ん中。歴史ある街道をゆったり歩けば往時の旅人気分！
9	掛川城公園	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	山之内一豊が建立。平成6年に日本初の完全木造再建。
10	潮騒橋、国安海岸	横須賀	に-⑨	○	大東	千浜	橋の形が特徴的。橋をバックに写真を1枚どうぞ。砂浜から見る夕日、橋上からの海の眺望
11	旧大須賀の緑の桜・御衣黄桜	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	緑色の花を咲かせる桜「御衣黄(ぎょいこう)」が大須賀支所南側の古楠神社の境内やその西側の道路沿い大須賀地区で
12	大須賀山崎の茶園	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀西部	新茶の季節は甘いにおいて心がリフレッシュ！
13	掛川市役所大東支所の展望台	横須賀	に-⑧	○	大東	睦浜	360度の景色を楽しめます。天気がよければ富士山も。
14	とうもんの里・田園空間博物館	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀西部	四季折々の花が楽しめる、ふるさとをそのまま未来へ
15	国安橋	横須賀	に-⑧	○	大東	千浜	菊川河口近くのゆったりした眺め
16	中新井池のオニバス、御衣黄桜	横須賀	は-⑧	○	大須賀	大須賀東部	オニバスは県天然記念物、絶滅危惧種、残念ながら今はない・・・。
17	愛宕下美術館	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	この町にこの美術館(宇宙的建物)
18	町番所	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀中部	横須賀城当時の役人の詰め所、大須賀支所北側に移築
19	清水邸庭園	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	回船問屋の建物と回遊式庭園
20	楨困い集落・生垣と屋敷林	横須賀	ろ-⑧	○	大東	睦浜	町内各所にもある
21	五明の天文学者(西村さん)	湯の道	は-④	○	掛川	西郷	壮大な茶畑、夜は満天の星空を一望。宝石を散りばめたよう！
22	富士見台霊園	湯の道	は-⑥		掛川	西南郷	名前の通り富士山がみれます。
23	東京女子医大、城東中近く	湯の道	に-⑦		大東	土方	春は染井吉野と枝垂れ桜、秋は西洋紅葉
24	源氏ホテルの池(大東図書館南)	湯の道	に-⑧	○	大東	大坂	予想より大きな池。たくさんのホテルで幻想的かつ神秘的？若宮神社の湧水で育てている。
25	上垂木	湯の道	ろ-④		掛川	桜木	ホテルが見られる。シーズンには臨時駐車場も。

「我がまち自慢」【a.景色・自然・観光】

2011/3  
掛川市民大学 Cグループ

No.	紹介したい場所	街道	マップ	本文	旧市町	地区	一言
26	倉真の落合荘前	湯の道	に-④		掛川	倉真	ホテルが見られる
27	つま恋	湯の道	に-⑤		掛川	西山口	ホテルが見られる
28	五明の茶畑	湯の道	は-④	○	掛川	西郷	一面の茶畑、新茶の季節は甘いにおいで心がリフレッシュ！
29	大浜公園	湯の道	は-⑧	○	大東	大坂	春は桜と深山つつじ、秋は萩
30	ねむの木の里の桜木池公園	湯の道	ろ-④	○	掛川	桜木	白鳥も見られ、渡り鳥のバードウォッチングはここでしょ！107種類の野鳥が生息、春は桜が見事！
31	京徳池	湯の道	は-⑤		掛川	南郷	ぶらっと1周30分。犬の散歩にどうぞ！
32	居尻の奥(黒俣)	湯の道	は-②		掛川	原泉	道沿いに湧水あり。おいしい水がタダで楽しめます。
33	大東シオ-ネ脇	湯の道	に-⑧	○	大東	大坂	季節によって色々な花畑(菜の花、ひまわり、コスモス)が楽しめます。
34	ならここの湯・居尻の露天風呂	湯の道	は-②	○	掛川	原泉	12/28はつきたての餅あり？家族で楽しめ、安いです。
35	法泉寺温泉	湯の道	は-④	○	掛川	西郷	美肌作り・美人の湯。歴史ある温泉で一泊楽しんでみてはどうでしょう？
36	倉真温泉	湯の道	に-③	○	掛川	倉真	歴史ある温泉で一泊楽しんでみてはどうでしょう？
37	倉真赤石温泉	湯の道	は-③	○	掛川	倉真	まさに「秘湯」。源泉の温泉で「湯の華」が見れます。ゆっくりとくつろいで！
38	大東温泉シートピア	湯の道	に-⑨	○	大東	千浜	地中海風温泉、和風・サウナ・ハーブ湯など多彩、グランドゴルフ場あり
39	花鳥園	湯の道	は-⑥	○	掛川	西南郷	花に包まれながら鳥と遊べる。ふくろうたちのショーは一見の価値有り。
40	居沼池(親水公園)	湯の道	は-⑧		大東	大坂	水鳥の休憩地、ヘラブナ釣り、水仙
41	ならここの里	湯の道	は-②	○	掛川	原泉	春は桜、夏はキャンプ、バーベキュー、秋は紅葉。ならここの湯も。
42	原野谷川親水公園	塩の道	い-④		掛川	原谷	天浜線原野谷(はらのや)駅から7~8分、原野川の河川敷の公園。春は桜の名所。夏にはホテルも見られる。
43	吉岡	塩の道	い-⑤		掛川	和田岡	新茶の季節は甘いにおいで心がリフレッシュ！
44	三十川の県道沿い	塩の道	ろ-⑤	○	掛川	桜木	コスモスに包まれて。9月中旬~10月中旬。三十川自治会が育てる。
45	原野谷川沿い	塩の道	い-④		掛川	原谷	桜並木と天浜線の田園的風景に気も安らぐ・・・。
46	キウイフルーツカントリー	塩の道	に-⑥		掛川	上内田	日本最大のキウイ観光農園。世界的にめずらしいキウイ有ります。ワインも是非！
47	加茂菖蒲園	塩の道	ろ-④		掛川	原田	古い庄屋屋敷と広がる花菖蒲園。色鮮やかな100万本を楽しんでください。
48	陣場峠	塩の道	は-⑥	○	掛川	上内田	桜の名所、掛川の町並みが一望できる

注 1)地区は、平成18年3月15日掛川市作成「わたしたちの掛川市」による。

2)”本文”欄に○印がある項目は、本文で紹介している項目です。

「我がまち自慢」【b.文化・芸術・歴史】

2011/3  
掛川市民大学 Cグループ

No.	紹介したい場所	街道	マップ	本文	旧市町	地区	一言
1	東の市境から小夜の中山峠	東海道	ほ-④	○	掛川	日坂	金谷側から坂道を登ると、島田市と掛川市の境の道標がある。ここから小夜の中山峠はもうすぐだ。
2	小夜の中山の歌碑、句碑	東海道	ほ-④	○	掛川	日坂	小夜の中山、久延寺を中心に街道筋に、多くの歌碑、句碑がある。
3	七曲	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	山内一豊が城を直接攻められないように工夫した道。
4	資生堂美術館	東海道	は-⑥		掛川	西南郷	ただで見学、化粧品の歴史が分かる、トイレきれいです。
5	久延寺	東海道	ほ-④	○	掛川	日坂	夜泣き石伝説ゆかりの寺。山内一豊が家康を持て成した茶亭跡もある。
6	夢灯(ゆめあかり、浮世絵美術館)	東海道	ほ-④	○	掛川	日坂	東海道五十三次浮世絵、説明してくれます。
7	二の丸美術館	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	地域の芸術文化活動の拠点
8	掛川城/天守閣・公園	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	「東海の名城」、国内唯一の木造再建
9	逆川土手の百合	東海道	は-⑤		掛川	掛川	ゆりの咲く5-6月は甘い香りもして、絶好の遊歩道です。
10	日坂宿	東海道	に-④	○	掛川	日坂	東海道五十三次・品川から二十五番目の宿。高札場や昔の宿舎が今なお健在しています。
11	事任八幡宮	東海道	に-⑤	○	掛川	東山口	願い事はことのまま叶う、最近遠方からの参拝客も増加
12	大日本報徳社	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	二宮尊徳の報徳思想を説く総本山、正門左右の門柱は、明治42年建立。
13	十九首塚	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	平将門以下十九人の首塚といわれる。
14	掛川駅	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	木造駅舎。保存活動を行っています。
15	天然寺	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	天正8年(1590)掛川城に入ってまもなく、一豊は天然寺に十六俵地を寄進しています。白い壁に覆われた所が泉洞山天然寺
16	掛川市埋蔵文化財センター	東海道	に-⑤		掛川	東山口	市内の発掘品を展示、千羽
17	原川の松並木	東海道	ろ-⑤	○	掛川	曾我	東海道の面影を残す松並木が500mほど続く。掛川ではここだ

「我がまち自慢」【b.文化・芸術・歴史】

2011/3  
掛川市民大学 Cグループ

No.	紹介したい場所	街道	マップ	本文	旧市町	地区	一言
18	伊達方一里塚	東海道	に-⑤	○	掛川	東山口	東海道、江戸より57番目の一里塚。初夏にはつつじが綺麗。
19	掛川城御殿(二の丸御殿)	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	掛川藩の儀式の場・藩主の公邸・役所として使用。現存する城郭御殿は日本で4つしかない。
20	竹の丸	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	江戸時代に葛布を扱う豪商が建てた大邸宅。
21	大手門	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	お城から逆川を東方向へ数分。
22	小崎葛布工芸(おざきかつぶ)	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	お土産物(葛布工芸品)製造、販売
23	横須賀城址	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	武田氏の高天神城に対抗し、徳川家康が命じて築いた城として歴史に名高い。二月中旬には、恒例の梅祭りが開催される。
24	清水邸庭園(大須賀)	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	回船問屋、建物が最高。庭には湧き水があり四季花々が彩りを添える。
25	矢柄神社、秋葉灯、大坂地区の秋祭り	横須賀	は-⑧	○	大東	大坂	「鎌倉時代に社殿を修理したという棟札のある古社」、「一本柱万度型屋台15台(矢柄神社の祭り)」
26	歴史民族資料館(大須賀)	横須賀	は-⑧	○	大須賀	大須賀東部	古民具の展示、「歴史発見」スポット
27	三熊野神社・大祭	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	掛川といったら「祭」でしょ。2輪屋台とお囃子が特徴的。一本柱万度型の屋台の本家。三社囃子は、県無形民族文化財。熊野権現の分社とも…。厄除け、子授け、安産、縁結び。
28	晴明塚	横須賀	は-⑧	○	大須賀	大須賀東部	願い事が叶う(?!)、不思議な遺跡です。遠州七不思議の一つ。
29	柴山神社(坂里)	横須賀	に-⑧	○	大東	千浜	神社の森が「ふるさとの自然100選」
30	庚申塔、地蔵、馬頭観音	横須賀	に-⑧	○	大東	千浜	小さな祠に石の塔、庚申塔、地蔵様、馬頭観音が祭ってある
31	岡原の銭亀堂	横須賀	は-⑧	○	大須賀	大須賀東部	12年、60年ごとに祀られた秘仏を開帳
32	大坂の追分道標	横須賀	は-⑧	○	大東	大坂	旧横須賀街道と旧掛川街道の交点の標識
33	窓泉寺	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	朱塗りの二階楼門
34	撰要寺	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	横須賀城歴代城主の菩提寺
35	風紋館	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀中部	瀬戸物など全国の有名な焼物と各種名品
36	やなせ提灯店	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀中部	お祭りの提灯、昔のあかりを求めて



「我がまち自慢」【b.文化・芸術・歴史】

2011/3  
掛川市民大学 Cグループ

No.	紹介したい場所	街道	マップ	本文	旧市町	地区	一言
37	西大谷ダム	横須賀	ろ-⑦		大須賀	大須賀北部	ヘラブナ釣りの名所。周辺が公園として整備され、地元有志の方が桜の木を植樹、未来の桜の名所
38	横須賀町並み・ちっちゃな文化展	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	全国から芸術家や見物客が多数訪れ、地元の人、高校生も一緒に盛り上げる。
39	愛宕下美術館	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	個人の蒐集した絵画、書などなど陳列、事前予約要。
40	軽便鉄道線路敷	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀東部	大須賀と大東町にかけて
41	サンドスキー場	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀南部	全国的に有名であった海岸スキー場
42	飛行場	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀南部	10年前からは、パイロットの訓練場
43	ヴィレッジ	湯の道	ろ-⑤	○	掛川	桜木	フェアトレードの喫茶と雑貨
44	ねむの木こども美術館	湯の道	ろ-④	○	掛川	桜木	子供たちの感性と集中力にはビックリします。ガラス工房で自作のペンダントを！
45	吉行淳之介文学館	湯の道	ろ-④	○	掛川	桜木	茶室・和心庵で子どもたちがお点前
46	龍尾神社	湯の道	は-⑤	○	掛川	掛川	山之内一豊ゆかりの、厄除け開運に靈験あらたかな掛川市御鎮座の古社。しだれ桜が有名。
47	貞永寺	湯の道	は-⑧	○	大東	大坂	足利尊氏の命による立正安国寺。桜の名所です。
48	小笠神社(大東)	湯の道	は-⑥		大東	土方	矢矧祭、高天神六砦のひとつ
49	本勝寺	湯の道	に-⑧	○	大東	中	別名:あじさい寺。植樹でできた門は立派です。
50	高天神城址	湯の道	は-⑦	○	大東	土方	小規模ながら、山城として堅固さを誇っています。毎年3月最終の日曜日に例大祭が行われる。
51	三井山	湯の道	は-⑧		大東	大坂	徳川家康の高天神城攻撃の拠点でした。高天神六砦のひとつ
52	吉岡彌生記念館	湯の道	に-⑦		大東	土方	女性医師の草分け、日本女子医大の創始者を記念
53	八坂神社	湯の道	に-⑧	○	大東	中	中村の祇園祭、古式の祭りが県無形民俗文化財
54	満勝寺	湯の道	に-⑧	○	大東	中	室町時代創建、雑賀氏の城跡。土用の丑、ほうろく灸
55	華嚴院(けごんいん)	湯の道	は-⑦		大東	土方	高天神城主の菩提寺、土方久元の碑
56	岩井寺	湯の道	は-⑥		掛川	上内田	真言宗の古刹、遠江三十三番札所

「我がまち自慢」【b.文化・芸術・歴史】

No.	紹介したい場所	街道	マップ	本文	旧市町	地区	一言
57	古いトンネル三兄弟(仮称)	湯の道	は-⑥		掛川	上内田	県道掛川大東線、旧道に残る青田、檜坂、岩井寺レンガの三トンネル
58	吉岡彌生生誕地・現鷲山医院	湯の道	に-⑦		大東	土方	病院は医院になったものの今でも続いている
59	猿田彦神社	湯の道	に-⑦		大東	佐東	足利氏の姫ゆかりの古社
60	浮島堂	湯の道	に-⑦		大東	佐東	流れ着いた地蔵を祭るお堂、永禄年銘、常夜灯あり
61	松本亀次郎公園	湯の道	に-⑦		大東	土方	日中友好に尽くした人を記念する公園
62	庚申塔、秋葉燈、復刻の石道標	塩の道	に-⑥	○	掛川	上内田	三つそろって雰囲気がある！！
63	塩問屋跡、暗闇坂	塩の道	に-⑥	○	掛川	上内田	今は何も無いが、名前と場所が残る。
64	板沢神社、自然石道標、秋葉燈	塩の道	は-⑥	○	掛川	上内田	塩の道らしいところ。
65	陣場峠・塩の道モニュメント	塩の道	は-⑥	○	掛川	上内田	見晴らし良し。家康の掛川城攻めの拠点
66	素掘りのトンネル	塩の道	は-⑤	○	掛川	南郷	この上を塩の道が通っていた。(本来の塩の道ではないが。)
67	秋葉山遥拝所	塩の道	ろ-⑤	○	掛川	掛川	東海道を急ぐ人の秋葉山へのお参り所
68	秋葉燈・石の道標、六地蔵	塩の道	ろ-⑤	○	掛川	桜木	三つセットで塩の道らしい
69	秋葉燈・福来寺・ 塩の道のモニュメント	塩の道	ろ-⑤	○	掛川	桜木	修復された秋葉燈
70	若一王子神社	塩の道	ろ-⑤	○	掛川	原谷	古く、パワースポットのような神社
71	長福寺・秋葉燈・ 石の道標・モニュメント	塩の道	ろ-④	○	掛川	原谷	四つセットで塩の道らしい
72	猿田彦神社・原田駅付近	塩の道	い-④	○	掛川	原谷	旅の神猿田彦を祀る。
73	和田岡古墳群	塩の道	い-⑤		掛川	和田岡	市内最大の古墳群(6つある)

1)地区は、平成18年3月15日掛川市作成「わたしたちの掛川市」による。

2)”本文”欄に○印がある項目は、本文で紹介している項目です。

「我がまち自慢」【c.食】

2011/3  
掛川市民大学 Cグループ

No.	紹介したい場所	街道	マップ	本文	旧市町	地区	一言
1	小泉屋	東海道	ほ-④	○	掛川	日坂	旧国道1号、小夜の中山峠を出たところ。子育て飴、夜泣き石。
2	扇屋	東海道	ほ-④	○	掛川	日坂	小夜の中山で唯一残る、茶店。子育て飴も。
3	すいのや	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	菓子屋だが、掛川おでんが美味しい
4	東山いっぷく処(東山茶業組合)	東海道	に-④	○	掛川	東山	掛川市東山の粟ヶ岳山麓にある地域密着のお店。深蒸し茶、茶文字まんじゅう、とれたて野菜、手造り惣菜も
5	二の丸茶室	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	本格的茶室だが、素人でも気軽に入れる
6	肴町のひょうたん	東海道	は-⑤		掛川	掛川	焼き鳥 肴町、0537-22-7734
7	なにわ好み	東海道	は-⑤		掛川	掛川	本場大阪のお好み焼きです。焼き方は店主より伝授を！
8	思い出の家	東海道	に-⑤		掛川	満水	お寿司、お好み焼き、こんにゃく色々あります。器は自家製？
9	甚八、うな助、うな専	東海道	は-⑤		掛川	掛川	炭焼ならではの味、絶品のうなぎをご賞味下さい。
10	ふるさと(吉岡)	東海道	ろ-⑤		掛川	和田岡	豚足がおいしいよ！コラーゲンたっぷり、もちもち肌に！
11	魚京(原川)	東海道	ろ-⑤		掛川	曾我	地元のお魚屋さん。刺身も目で切ってくれる。
12	道の駅掛川	東海道	に-⑤	○	掛川	東山口	新鮮な農産物が揃っています。全国有数の道の駅です。
13	梅衣、木レンガ(榊屋)	東海道	は-⑤		掛川	掛川	甘い紫蘇巻きの饅頭、カステラ入り羊羹
14	葛餅(梅廻屋)	東海道	は-⑤		掛川	掛川	最高級の本吉野葛を使った葛餅
15	沙羅の木	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	喫茶店、料理も美味しい。列車待ちの時間調整に。
16	もち金(柏餅、豆大福)	東海道	は-⑤		掛川	掛川	創業100年、なんと言っても豆大福、冬季のみ午前で売切れ
17	もちや(振袖もち)	東海道	は-⑤	○	掛川	西山口	たっぷりあんこが入ってます。
18	ふしおん(お千代弁当、お千代御膳)	東海道	は-⑤		掛川	掛川	掛川城の真ん前、「こだわりっば」の上でお千代御膳1050円～
19	これっしか処	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	掛川駅売店、ここでしか手に入らないお土産が揃っています。茶そばも
20	こだわりっば	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	掛川城の真ん前、掛川茶、茶そばをはじめ地元の名産品がいっぱい！
21	けつトラ市	東海道	は-⑤		掛川	掛川	毎月第3土曜。盛況なお店はすぐに完売してしまいます。
22	GANESHA(ガネーシャ)	東海道	は-⑤	○	掛川	掛川	インド・ネパール風カレー専門店。大きなナンが焼きたて、お代わり自由。
23	くずかわ茶寮 寅や	東海道	は-⑤	○	掛川	西山口	ランチ(寅や弁当)がおすすめ、0537-24-5464
24	葵天下酒造	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀中部	天下一品。一度飲んだら止められない！！
25	好(ハオ)(大東)	横須賀	は-⑧		大東	大坂	一風変わった中華料理、なかなか旨い
26	かりゆし(大東)	横須賀	に-⑧	○	大須賀	陸浜	沖縄のお酒も是非堪能してみてください。

「我がまち自慢」【c.食】

2011/3  
掛川市民大学 Cグループ

No.	紹介したい場所	街道	マップ	本文	旧市町	地区	一言
27	サンサンファーム	横須賀	は-⑧	○	大須賀	大須賀東部	観光農業と農産物・地場産品の販売、観光PRの拠点
28	ミナクル市大城店	横須賀	に-⑧	○	大東	睦浜	市内最初の産地直売店、夢咲牛も注文できる
29	八百甚(大須賀)	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀中部	古い歴史を感じる旅館。営業中・低価格、岩風呂あり。
30	愛宕下羊羹	横須賀	ろ-⑧	○	大須賀	大須賀中部	売り切れ勘弁！早めのお越しを！とても喜ばれるお味です。
31	太鼓最中(大須賀)	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀中部	ご存知お祭り太鼓の形をしている
32	栄醤油醸造	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀中部	料理にはもってこいの味。たまごかけ専用もお勧め。
33	大石農場ハム工房	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀南部	自前の豚で、本場ドイツ仕込みのハム、ソーセージを作っている
34	パンの郷	横須賀	ろ-⑧		大須賀	大須賀中部	メロンパンの美味しさ最高！
35	たこまん	横須賀	は-⑧		大東	大坂	遠州を代表する菓子発祥の地
36	しばちゃんちのジャージー牛乳 (柴田牧場)	湯の道	は-③	○	掛川	原泉	こくがありおいしいです。自慢のソフトクリーム、シュークリーム、プリン、ヨーグルト等もあり。
37	開運・土井酒造場	湯の道	に-⑦		大東	佐束	掛川の地酒、銘酒「開運」、全国的に有名、賞もとっている
38	ビニータ(インド風カレー)	湯の道	は-⑥	○	掛川	南郷	本格インド風カレーの専門店であり、昼食ときにはかなり混み合う。大きなナンが焼きたて。
39	ならここの里	湯の道	は-②	○	掛川	原泉	バーベキュー設備完備
40	高天神最中(中嶋屋)	湯の道	に-⑦		大東	土方	名城「高天神」の名を冠したもなか
41	小笠山の松茸(藤江邸)	湯の道	に-⑦		大東	土方	予約必要
42	落花生の煮豆(たなか)	湯の道	に-⑧		大東	睦浜	魚屋の作る珍味
43	法寿庵	湯の道	は-④	○	掛川	西郷	味風流
44	吉岡ばら団地	塩の道	い-⑤		掛川	和田岡	生産者から直接卸値で購入可能です。
45	本丸(いも汁)	塩の道	は-⑤		掛川	西南郷	掛川の郷土料理。本格的とろろ料理。駅南口を真っすぐ南下
46	きみくら	塩の道	は-⑥		掛川	上内田	掛川茶によく合う菓子、丸山製茶で経営
47	たかやま	塩の道	ろ-⑤		掛川	原谷	腕のよい板前さんの作る和食がうまい。
48	ステーションリーカフェkonohi	塩の道	ろ-⑤	○	掛川	桜木	隠れ家的雰囲気のお茶店兼文具店

注 1)地区は、平成18年3月15日掛川市作成「わたしたちの掛川市」による。  
2)“本文”欄に○印がある項目は、本文に紹介している項目です。



### <検討メンバーから一言>

**中山 統夫(リーダー)**

1年間、掛川市についてあらためて勉強させて頂きました。  
良いところを、より多くの人に伝えていきたいと思えます。

**石引美枝子(サブリーダー)**

掛川のいいところ再発見しました。  
行きたいところ、いっぱいです。

**三角 直道(会計)**

知りたい意識をもって行動すると、情報は入ってくる！

**福住 悦也**

知らないことばかりのことを知りました。

**戸塚 修二**

10年後の2022年に再会しましょう！

**村松 勇一**

千人の知り合いより、十人の友。  
皆さんありがとうございました。

**前堀 享子**

グループの人達とウォーキングでき、とても楽しかったです。  
これからは是非、多くの人達に知らせて行きたいと思えます。

**鈴木 洋一**

良い友達がたくさんできました。  
知ってたつもりの掛川を再発見しました。

**石神 敦樹**

八幡様のお膝元、伝説の雄鯨山で育まれた深蒸し茶を  
ご賞味あれ！

**大場 雄三**



2010年度 掛川市民大学校 Cグループ